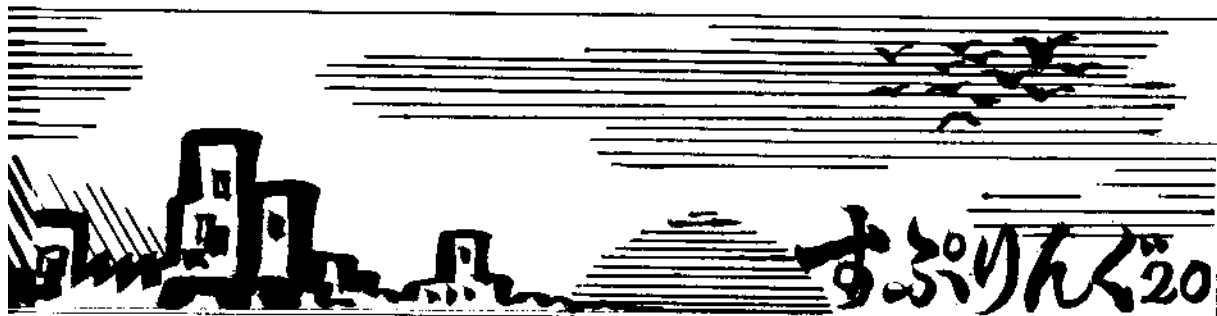




卷頭言

この雑誌がその題目
「スプリング」のとおり、
「春」のように生々とした
「泉」のごとく新鮮で
「躍動」のように力強い
ものとなることを願う。

|| 創刊号編集後記より ||



目次

巻頭言..... 1

自治会..... 4

雑感..... 後期自治会会長 小松 修..... 4

自治会意見封事..... 前期自治会副会長 大石 日出雄..... 5

修学旅行を詠む―その一―..... 7

スプリング発刊二十周年記念特集..... 8

★ジャンボアンケート集計発表..... 8

★他校訪問記―北野高校・旭高校―..... 16

★スプリング二十年の歩み..... 18

★スプリング年鑑と折り込み..... 21

修学旅行を詠む―その二―..... 13

回想記..... 23

「発刊二十周年によせて」..... 大倉清校長先生..... 23

「随想」..... 平 正人先生..... 24



「今は昔」 稲川 正義先生……………26
 「体研二十年」 伏見 敬治先生……………27

修学旅行を詠む―その三―……………29

行事紹介……………30

五十五年度行事予定紹介……………32

クラス紹介及び担任紹介……………三一クラス……………33

先生紹介……………49

クラブ紹介……………全クラブ……………58

クラブ直撃インタビュー……………62

読物

「モータースポーツ考」 一年十組 秦 正佳……………66

「私の周辺」 三年三組 稲葉明義……………67

「同好会のすすめ」 棋道同好会長 栗本貴司……………69

「静寂の中に」 一年五組 本多直弘……………69

「リコレクション」 三年六組 秦 光広……………70

「愛について」 三年七組のトニオ・クレイゲル……………71

編集後記……………72

表紙。二年二組 楠本敦之

カット・美術部他

自治会

「雑感」

後期自治会会長 小松 修



私が、会長に立候補しましたのは、九月も下旬の事でした。その時点ではまだ候補者が出揃っていなかったもので、選挙は順延となり、十月になり、中間試験、修学旅行と続き、漸く十一月六日に投票、八日に認証されました。この様に期日より遅れて後期自治会が成立したという事は、近年見られなかった現象です。何故でしょうか。勿論候補者がなかなか揃わなかった為でもあります。しかし、生徒全体の雰囲気、という面から見るとどうでしょう。「自治会長に誰も立候補してへんねん」と話題に上っても、「ふうん、そんな関係ないワ」というのが、大体の傾向だったのではないのでしょうか。かく言う私も当初は立候補する気なぞ全くなく、未だに何故に会長になったのか、と思う事さえあります。自治会の仕事なんて億劫やろ、と言う声をよく耳にします。ところが私自身はそうは思わない。例えて言えば運動系クラブの人々が、放課後グラウンドで走りまわっていることなどは私にしてみれば驚嘆すべき事実でありまして、肉体的疲労感と言う点では我々の仕事は至極「楽」であります。ではどうして自治会役員になろうというとは皆から敬遠されるのでしょうか。私の様な暢気者はあまり感じないのですが、精神的に「しんどい」から、だと思われまふ。つまり行事運営における諸々の責任問題、会議招集が円滑に行われない、一般生徒の意向が捉え難い、等々。現に我々もこれらの事に悩まされることが多々あります。これに対し、特に一般生徒云々の問題に関して、自治会は無力に近いの

です。つまり何もせず終わるか、適当に事を運ぶ様にするか、ということになるのですが、何もせずいると必ず非難が来る。無論そういう声は本当にありがたいのですが、クラスの声、クラブの声、という様なまとまった形で来た試しがない。だから生徒の意向と見なすのには甚だ弱いのです。よって自治会が先導して事を運んで行かざるを得ない。ここに「自治会はしんどい」と言われる所以があるのです。

文化委員の他校訪問に自治会代表ということで同行し、北野・旭両校の自治会の皆さんと話を交しました。それぞれに違う校風に接し、大きな収穫があったことは、文化委員の方に譲るとして、私の感じたことは両校共生徒の自治会に対する関心が最近薄れてきている、ということでした。さりとて生徒が無気力になってきた訳ではありません。我が校を含め、高校生の全体的風潮「楽しい事には進んで参加するが、自ら築くという事はしない」という嘆かわしい傾向の一つの現れなのです。勿論積極的に各方面、例えばクラブで活動している人は多数います。ところが自治会に関してはそうでない。その最大の原因は「クラブは、例えばスポーツならそのゲームをやりたい者、同志が集まって成立する。だから一所懸命にする。しかるに自治会が何をしようとか関係ない。只予算だけががちり取りたい」といった各人の意識でしょう。私は何もクラブに反対している訳ではなく、寧ろ大いにこれを奨励したいし、クラブをしている人は大変楽しそうで、高校生になってクラブに入らなかった自己を少々反省している面もあります。私が言いたいのは、クラブであれだけ熱中出来る人が、どうして自治会にはそっぽを向くのか、ということです。自治会が何ももしないからでしょうか。自治会がすることは自治会だけにまかせておけばいいからでしょうか。果たして高校

生としてそれでいいのでしょうか。皆何らかの形で自治会には意見がある、と思うのです。そういう意見が自主的に集まってこそ、自治会は成立する、ということ、各人が原点に戻ったつもりで、自覚することが必要だ、と考えるのです。自治会とはあくまでも生徒全員で構成されるべきであって、自治会本部はその意見をまとめ、行き過ぎた点は考え直し、細かいことで不足した点を補い、或る時は学校側と交渉し、又全生徒へ向かって呼びかけをする、言わばこの為のみ存在するのでして、そういったことにこそ「高校生としての自主性」が問われるのではないのでしょうか。つまり何も自治会の問題に限らず、或る一つの社会の中で自己の意見を持ち、発表し、社会に協力（或いは反対）していくという姿勢、それが無いとそこには「自主」もない、と思うのです。

新年度が始まり、二・三年生は新しいクラス編成となり、一年生は殆ど未知の人と出会う訳です。新しい友人を見つけようと意気盛んな人、人との交わりよりも自分のことの方が大切だと考えている人、そんなことは何も思わず、只漫然と暮そうと心に決めている人等色々あると思います。私は、皆が自治会を盛んにしていこう、と思うなら、この時期に各人が各人のクラスをまとめ、又はまとめようと努力することが大事である、と考えるのです。つまり誰かが何かをしよう、と言った時、全員がそれに参加（無論付和雷同ではなく）出来る、そういう雰囲気クラスがあれば、そこから出る声はクラスの声として自治会に集められることが出来ます。しかるにクラスがバラバラなら、自治会から何を言っても、そのクラスの人自治会へ何を言っても、通用しない、ともいえるでしょう。確かに個人の意見は大切です。しかし、その意見をもっと大きなもの――

ここでは自治会へ働きかけたいのなら、個人よりも複数の意見の方が勢力があるのは当然です。自治会活動の場合、その複数の人々の単位はクラスなのです。私が、クラスでまとまってこそ自治会活動は盛んになる、という理由は実にここにあるのです。そういった言わば当り前のことが為されていないのが現状ならば、新しい友と目見えた今こそ、各人がそのことをじっくりと考え得る機会だ、と思います。春の校外教授、球技大会、文化祭、と盛り沢山の一学期、色々な出来事の中でクラスがまとまり、自治会活動が真の意味で活発となり、そして何よりも私を含め、個人個人の自主性が大きく成長していくことを期待し、私自身精一杯努力しようと思います。

自治会意見封事

前期自治会副会長 大石 日出雄

「またか。」と思う方もおられるかも知れませんが、この紙上をお借りしまして自治会活動を通じて感じとった生徒の皆様の印象をここに述べて、分析したいと思っています。なお文章の展開においては、あまりにも独断的で偏見を含んでいる箇所もあるかと存じます。が、そこはあしからず御了承下さるようお願い致します。

さて自治会活動と申しましていろいろございます。学級ができてすぐ行われたバレーボール大会、夏休み直後の水泳大会や、体育大会などがそうですが、ここでは六月に行われた文化祭を、とりあげたいと思います。それは文化祭こそ現代大手前高校生の特徴が、はっきりとあらわれた行事だと思われるからです。

文化祭と申しますと二日間わたる大行事で、第一日目の第一部は私達の文化を外部の人に見てもらおう催しであり、第二部では保護者の方に承認された生徒達がフォークダンスを踊ったりします。第二日目は、校外の会館で日頃機会のない文化系クラブにその活動を発表してもらおう企画です。

では本論にはいりたいと思います。まず第一日目の第一部では、各学級またはクラブなどの団体が個々別々に催すわけですが、今年は学級が参加する分では、おぼけ屋敷の仮申し込みが、とても多かったようです。一応こちらで三クラスにしぼるといふ処置を、とりましたが、これでは文化祭というよりも興味本位のお祭り、という感じがします。また一年は初めてということもあってか、下品にも、派手な格好をして、生徒通用門の所まで行って、自分のクラスに客を呼びこんだのです。とても大手前高校生とは思えないではありませんか。また後で述べるとして、次に第二部に目を転じてみましょう。この呼び物は何といつてもフォークダンスですが、そのフォークダンスをさあこれから始めようとした段階で、指示する前にぱつと生徒の皆様が散ってしまつた、ということですが、おかげで統制が乱れて予定していた通りにいきませんでした。団体行事では常に指導者側の指示をちゃんとうけていなければ楽しいものとはなりません。これが不変の真理です。「フォークダンスを始めます。」と言われたのなら、次に「列を作りますよ。」という言葉が誰の頭にもはつきり浮かぶのは当然ではありませんか。これも、また後で述べるようにしましょう。さて第二日目ですが、文化系クラブの方では、さすがに一所懸命でした。しかし観客、つまり発表する立場でない大手前高校生はいったいどんなだったでしょう。一静かに舞台を見

つめ各クラブの芸に見入りおもむろに拍手する—なんてのは昔の話で、今年はずっと文化系クラブの芸に見入る、というわけにはいかない状況でした。ものすごくうるさかったのです。この第二日目に同時に行われましたコーラス大会決勝の審査にあられた先生は決勝時の講評の時、とても怒っておられました。その先生だけが怒っておられたわけではないのです。

ではこれからそれらに対する問題点を指摘したいと思います。まず第一日目で、文化祭という名目にたがう興味本位のおまつりになってしまった、というのは生徒の質が落ちたということでは仕方ないことかもしれませんが、校門近くで派手な呼び込みをするというのは、いかにも場違いで理性に反することだとは思いませんか、現代大手前高校の質が低下したということはともかく、理性までなくしたということは考えられません。理性は各人が常識という形であるにしろ何であるにしろ必ず身についているはずの物です。それさえもないような錯覚を与える行動は我が校の恥ではないでしょうか。そのところを今からでも遅くはないから考え直してみましょう。次に第一日目の第二部ですが先にも述べたように、文化祭の第一日目の第二部という行事を構成するのはあくまでも生徒の皆様であつて、我々自治会本部はそのお手伝いをしてるのに過ぎません。しかしまがりなりにも実施面では自治会の言う通りにしていただかなければ、これはもう行事というより、何の統制もないやじ馬の集合とほとんど変わりありません。だから当然今年の第二部では、不満だった皆様も多かったに違いありません。その責任を自治会がうけるのも、仕方がないところです。しかし先に述べたところから皆様の方にもおちどがなかったか、という自問の心を持って下さい。それか

ら第二日目の事について触れておきましょう。皆様のエネルギーが
 ありあまって、つい大きな声をたてて騒いだりするのは、仕方な
 い事かもしれません。仮にも文化系クラブの人達が一所懸命やっ
 ている目の前で騒ぐことはないではありませんか。これは今年だけ
 悪いというのではなく、昨年もこうでしたので多分現代大手前高
 生の実態だと思います。無論昔の大手前高校生はどうだったのかは
 我々自治会本部も知るところではありません。が、多分これほどま
 でうるさいということはないでしょう。誰かが騒いでも、それ
 はあくまで、舞台の上のクラブ発表にさしかかえない範囲であつた
 だろうし、またその範囲を越えた時でも隣人が注意したでしょう。
 とところが現代は、あまりのうるささに、当日は執行にだけ関与して
 いればいいはずの自治会本部が観客統制の放送までする始末。それ
 でもまだ収まらないでとうとう先述の先生の激怒となったのです。
 恥ずかしいとは思いませんか。いったいそんなことで、明日の日
 を背負っていく人間ができるでしょうか。我々自治会本部はそんな

不安を切々と感じたのでありました。
 以上文化祭にしばっていろいろな事を書き並べましたが、なお書
 き尽くしていない部分もあるかもしれません。これをお読みにな
 った方々の中には、反感をもつ人々や、共感を覚えた人などいろいろ
 あるとは思いますが、たいいていの人は思いあたる節があると思いま
 す。それからこの事柄は単に生徒の皆様の品位のなさから起因する
 ものでなく生徒の皆様の民主主義に対する認識のなさからくるもの
 だと思えます。ですから、一度民主主義の持つ深い意味を突込んで
 考える事も大事だと思います。今の平和な世の中では、生きる事は
 当然の権利という考えが小さな子供にも浸透してきます。それは確
 かにそうですが、その権利の裏には義務があるということはどうも
 忘れられがちなようです。そのことがわからなければ真の民主主義
 は完全には理解し得ないと思います。

——真の平和は真の民主主義に右する
 求めよう、真の民主主義を——

修学旅行を詠む

選・鳴上善治先生 — その一 —

。出発の楽しさをよめる

新大阪白い車体に取り込めば心は既に博多駅なり

二年 五組 藤本圭一

出発のうれしさにさわめく新大阪待合所での朝のひととき

二年 九組 小川理子

。三太郎峠を越える時に

湯の尻にて水俣の事を思ひ出すこの風景からは信じられざり

二年 七組 縣修一

有明の遠くに見える水平線あやっばり地球は丸い

二年十一組 中村茂美

鶴富の悲しい運命をのせながら稗摺節は今も流るる

二年十一組 今関恵子(次はP.13)



特集Ⅰ 大手前生の実体をさぐる

ジャンボアンケート

「こんな長くてくだらんアンケートはやめろ!!」

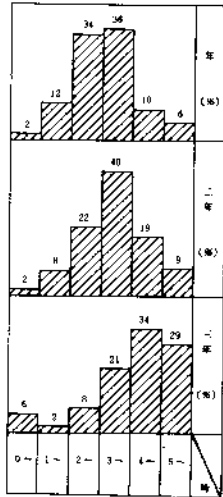
アンケートの最後に設けた意見欄には、このようなきびしい意見をほざく、いやおっしゃる声も多く、質問の量・内容に工夫が足りなかったことを反省しております。

しかしなんととっても、集計の第一段階をするだけで、文化委員に残ってもらってしっちゃんかめっちゃかすること三回、というまさに歴史的大事業でありました。そういう中で、「こういう企画は興味深い。結果を楽しみにしています。」といったうれい声をみつければ、集計の手を休めてひたすら感涙にむせぶこともしばしば……

では、一九八〇年代を生き抜く指針とするのもよし、数字を見てニヤリとするだけでもよし、大手前生の全貌を見てみましょう。

勉強は大丈夫？

○家庭での勉強時間



右のような解答で、昭和三十七年発行のスプリング2号とほぼ同じような結果だった。

また各学年とも「夜型」と言う人がほとんどで、自分の勉強時間について「十分だと思ってる人は14%にとどまった。肝心の中身はどうかな？

○好きな科目ベスト5

学年	1位	2位	3位	4位	5位
一年	数学	英語	地理	現国	体育
二年	数学	英語	日本史	現国	物理
三年	数学	英語	現国	日本史	

(三年は④までしか出なかった)

ただし「好きな科目と点のよい科目は一致しているか？」に、「はい」「いいえ」がほぼ同数で、しかも学年が高くなるほど「いいえ」が増えているのがつらいところ。またどの学年でも一、二位を占めたのが数学と英語というのは、トーゼンの結果か!?

『定期テスト準備』は、各学年とも一週間から10日までが普通だが、三日以内という人も2割ほどいた。



トラの穴!?

。"トラ"を持っている数

	0	1冊	2冊	3冊	4以上
一年	31%	14%	19%	15%	21%
二年	9%	12%	17%	18%	44%
三年	30%	33%	21%	9%	7%

三年生は、教科書を離れた授業も多いせい
か、あまり持っていないが、"トラ年"生ま
れの多い2年生はお好きなようで……。

。持っている科目ベスト3

	①	②	③
一年	古文	漢文	数学
二年	英R	古文	漢文
三年	古文	漢文	英R

6号を見ると、一年①数②古③漢、二年①
古②数③漢となっており、今では数学が意外
に(?)減っているくらいで、相変わらず古文
・漢文は"必需品"のようだ。古文・漢文は
セットで持っている人が圧倒的に多いが、次
の「授業中によく眠る科目」の上位でもある
ことをみると、「予・復習に利用」というよ
り、「テスト直前のまにあわせ」となること
が多いのでは……?

ARE YOU SLEEPY?

「授業中眠ることがあるか。」

	ない	ある(無意識)	(意識的)
一年	28%	49%	23%
二年	22%	45%	33%
三年	43%	32%	25%

。よく眠る科目ベスト5

	①	②	③	④	⑤
一年	現国	古文	漢文	生物	地理
二年	古文	現国	漢文	化学	世界史
三年	現国	古文	世界史	化学	政経

うゝむ。なんとも言えないが、「意識的に
眠る」というのはどうもまいったもんだね。

高校生活は?

。クラブについて

「入部の理由」は、「なんとなく」友人に
誘われて。」が「好きだから。」よりかなり多く、
消極的な動機によって入部しているようだ。
しかしいざ入部してみると、「自主的に活動
している」人が59%となって、またそれがク
ラブでの「満足」につながっているようだ。
「満足」の理由として、「活動が活発だ。」
「友人ができた。」「楽しい。」があるが、「不

満足」の理由の大半が「怠慢すぎる。」である
のもそれを物語っている。もちろん、「怠慢」
即ち「不満足」となるわけでもなく、「怠慢」
をモットーに結構楽しんでいるところも少な
くないことが、クラブアンケートや「満足」
の人が71%もいることからわかる。ただしそ
の場合は「友人関係」がうまくいっている場
合に限り、結局クラブが楽しくなるかならな
いかは、「自主性」と「友人関係」によって
左右されるようだ。

「昼休みは何をしていますか。」

①	友達と話す	64%
②	勉強	11%
③	クラブ	11%
④	その他(スポーツなど)	14%

昔は昼休みに外でスポーツをする人が、今
より多くいたが、それでも「もっとスポーツ
をしよう!」と呼びかけていた。今では10%
前後、とかなり少なくなっているが、その分
「勉強している」人が増えたわけでもなく、
「友人とおしゃべりする」人が増えただけな
のは考えものだ。
実際は、外を見ると、グラウンドに出でい
る人も多いが、とにかく「しゃべる」だけだ
ったら外に出てひなたぼっこでもしよう!?

『高校生活のどこに意義を感じるか。』

一、友人	41%
二、勉強	21%
三、クラブ	19%
四、食堂	9%
五、その他	10%

。2号での順位は

- 一、クラブ活動
- 二、勉強
- 三、食堂
- 四、スポーツ
- 五、友人

『今の高校生活に満足しているか。』

はい	23%
いいえ	42%
どちらともいえない	35%

今の大手前生は、高校生活の意義に友人をあげる人が断然多く、高校生活に満足しているかどうか、友人関係」が大きなウェイトを占めている。

しかしなんといっても「高校生活に満足している」人はわずか23%で、その約2倍の人が「不満足」と答えているのを見ると、学校や先生、または学校全体の気風に対しての不満も高いようだ。

『本校を名門校だと思うか。』

	一年	二年	三年	全体
思う	34%	32%	44%	36%
思わない	32%	38%	36%	35%
わからない	34%	30%	20%	29%

『他校生に対し優越感を持っているか。』

はい	21%
いいえ	56%
どちらともいえない	23%

先生について

『先生を尊敬しているか。』で、「すべてしている」と答えた人が9%、「全然していない」と答えた人が16%だった。そして四分の三の人が、「たいてい」か「一部だけ」と答え、やはり先生によって違うらしい。また『先生に対して親しみを感じるか。』には、「感じない」という人が28%と、これは見のがせない数字だ。

この原因をさぐるため、『先生への要望』を見ると、圧倒的に多かったのが、「伝統、伝統と言わないでほしい。」で、この言葉にアレルギー反応を示している人が多いということに改めて感じた。他に「もっと生徒を理解してほしい。」「クラスや生徒を差別している感じがする。」「生徒の自主性を尊重してほしい。」から「授業がわからん、聞かえん、はやすぎる。」までいろいろあった。もちろん生徒からの一方的要望であり、ストリートには受け取れない面もあるかもしれないが、先生方にも考えていただきたい部分も少なくない。

また、「もっと先生のことをよく知りたい。」という意見も多く、両者の相互の理解で、右の数字はもっとよくなるのではないか。



★生活と内面★★



将来について

『なぜ、大学へ行くのだと思うか。』

	一年	二年	三年
専門知識の獲得	39%	45%	47%
学生生活を楽しむ	33%	25%	18%
就職のため	12%	15%	14%
一般教養の向上	11%	13%	15%
その他	5%	2%	6%

このように、学年を経るごとに「楽しむ」というのが減り、「専門知識」が増えている。また、男子に「就職のため」が多く、女子には「一般教養」が多いようである。

2号と比べると、「専門知識」が倍以上になっている。



。将来、行きたい国ベスト10

1	アメリカ
2	スイス
3	フランス
4	オーストラリア
5	中国
6	イギリス
7	ドイツ
8	カナダ
9	スウェーデン
10	オーストリア

各学年男女ほとんど一緒で、アメリカは3と4割を占めている。理由としては、「歴史、芸術、自然にひかれて。」「自由だから。」「広大な土地にあこがれて。」「天国に行きたい。(地獄はイヤだから。)」の珍解答も・・・。

読書について

『一ヶ月に何冊読むか。』に対して、1と2冊という人が、各学年とも半分強を占めた。○冊というのは、一・二年において20人に1人であるのに、三年になると6人に1人と増えている。読書量は、18年前より少々減って

いるようだ。

次に「どんな種類の本を好んで読むか」については、まんが、雑誌、そして専門誌である。小説の中では、推理小説・SF・歴史小説が多い。昔はもっと専門誌が多かったヨ。

『最も好きな作家』

日本文学においては、2号、6号の調査とかわらず、夏目漱石が、圧倒的多数で一位である。二位以下は、星新一、北杜夫、筒井康隆、太宰治の順になった。星、北、筒井は18年前には見られない。

外国文学においては、アガサ・クリステイ(女子に人気)続いてヘミングウェイ(男子)にどの学年でも一番の人気。ベモンゴメリ、ヘッセ、モーパッサンの順になった。その他女子にはサガンも人気があった。トルストイなどの大家は、あまり読まれなくなった。

。好きな作品ベスト5

日本文学

1	こころ
2	友情
3	坊っちゃん
4	次郎物語
5	人間失格

外国文学

1	老人と海
2	罪と罰
3	風と共に去りぬ
4	武器よさらば
5	そして誰もいなくなった

娯楽について

「趣味は何か。」

音楽・レコード鑑賞が圧倒的に多く、次いで読書が多かった。その次は、男子ではスポーツ、女子では手芸・料理であった。

「クラブ以外にスポーツをするか。」

	一年	二年	三年
しない	66%	57%	69%
たまにする	24%	33%	22%
よくする	10%	10%	9%

全体的に、学校以外ではどの学年もあまり運動しないようである。運動の種目で多かったのは、男子は野球、サッカー、ジョギング、女子ではテニス、ジョギング、卓球である。(勉強ばかりしていると、虫歯になるよ！)

「新聞は、何分ぐらい、どこを読むか。」

読む時間は、30分以内が実に、全体の8割を占めている。読む欄は、「まんべんなく」が一番多く、続いてスポーツ欄、三、面記事、社説、コラム、そして最後にやっと政治・経済欄がでてくる。政治・経済にも、もっと関

心を持っていいのではないだろうか。

「テレビは一日に何時間、見るか。」

	0 (時間)	1	2	3	4
一年	5%	8	35	2	3
二年	5	7	31	36	14
三年	7	15	29	34	8
					7

1〜3時間というのが非常に多い。これは15年前とも、あまり違ってはいないようである。しかし、一日四時間以上も、テレビを見る余裕があるとは驚きだ。教育テレビかな？

「ラジオは一日に何時間、聞くか。」

	0 (時間)	1	2	3	4
一年	29%	9	30	18	8
二年	32	8	21	21	10
三年	35	13	20	16	8
					8

ラジオに関しては、聞かない人が、全体の3割強あった。不思議なのは、0〜1時間がどの学年も急激に減っている事だ。(計算ミスか?) 15年前に比べると、聞かない人、とてもよく聞く人、共に増えている。

。好きなタレント(歌手・俳優)ベスト10

男性	順位	女性
さだまさし	一位	松坂慶子
水谷豊	二位	山口百恵
アリス	三位	中島みゆき
松田優作	四位	イルカ
草刈正雄	五位	八城夏子
近藤正臣	六位	桃井かおり
甲斐バンド	七位	大場久美子
ゴダイゴ	八位	竹下景子
松平健	九位	原悦子
南こうせつ	十位	大竹しのぶ

結果は右のとおりである。18年前は、男性歌手では舟木一夫、プレスリー、女性歌手では島倉千代子、コニーフランシスに人気があったようだ。男優では三船敏郎、C・ヘストン、女優では吉永小百合、O・ヘップバーンに人気があった。(かわったねエ。)

現在、好きな音楽の種類は、ロック、ニューミュージック・フォーク、歌謡曲、クラシックの順であるが、18年前の2号スプリングには、ニューミュージックやフォークの文字は見あたらない。

日常生活について

『毎朝、何時に起きるか。朝食はとるか。』
起床時刻は、七時～七時半の人が三割強、七時半～八時の人が三割であった。八時以降の人も、全体の5%いた。一般に、学年が上がるにつれて、起床時刻が遅くなるようだ。朝食は、八割の人が毎日きちんと取っている。これは、まことに結構である。

○一日の睡眠時間（ウィークデイ）

	5時間未満	5～	6～	7～	8～	9～
一年	3%	6	32	42	12	5
二年	4	6	33	37	12	8
三年	5	6	33	37	10	5

6～8時間が多く、昔とあまり変わっていない。（本当はもっと少ないのでは？）

自分自身について

『自分の性格をどう思うか。』

	（男子）	一年	二年	三年
今でよい	53%	51	49	36
いけない	47	49	64	
（女子）	二年	二年	三年	
今でよい	36%	41	52	
いけない	64	59	48	

男女によって、かなりばらつきがあった。

学年ごとに見ると、どの学年も、「このままでいい」と思っている人は、学年の45%で、ほとんど違いは見られなかった。

また、「いけない」と思っている人の理由には、「根性わる」「協調性に欠ける」「デレデレしすぎる」「良すぎる(?)」などがあつた。

『自分の意見をすぐ人に言えるか。』

この質問の解答は、どの学年の男女ともほぼ同じで、「言える」「言えない」が、半分以上ずつといったところだ。（意外とひかえめ？）

『何でも自主的に行動できるか。』

	（男子）	一年	二年	三年
はい	34%	26	26	50
いいえ	23	31	34	
わからない	43	43	16	
（女子）	一年	二年	三年	
はい	25%	32	35	
いいえ	25	26	23	
わからない	50	42	42	

二年を除くと、男子の方が自主的に行動できる（と自称している？）ようである。

『あなたの不満の解消法は何か。』

「寝る」「ヤケ食い」「クラブ」が最も多く、続いて「暴れる」が多かった。「ぬいぐるみ・柱を蹴る」「叫ぶ」「苦しみに堪える」「勉強する」も……。

修学旅行を詠む

○えびの高原にてよめる

風吹かれ銀色に光るすすきは秋の高原別世界のよう
池の水青の中にも緑いろ映えるもみじ葉霧島は秋
神々の下りしと聞く高千穂の峰をのぞめばおごそかに見ゆ
高原を行くバスの列見下ろすは、ここ霧島の澄みわたる空

（次は29ページ）

— その二 —

二年 七組 大森理代
二年十一組 高田裕史
二年 九組 清水美奈子
二年十一組 藤田隆司

★対人関係★★★



何でも話せる友人はいるが・・・

「何でも話せる友人はいますか。」に対して「いる」と答えたのは男子69%、女子87%で、これは18年前の2号での52%に比べ、かなり増えています。またそのような友人の人数は、男子では運動系クラブ所属の人を除いて、1人がほとんどです。女子は、一年で3〜4人が圧倒的で、二年は2人、三年は1人とその数がだんだん減っています。これは「何でも話せる友人」の定義が狭くなっているためだと思います。

ところで運動系クラブに所属している人のほとんどが4〜5人と答えたのに対して、「いない」と言う人が特に無所属の人で目立ちました。クラブ活動の影響が顕著にあらわれているようです。

「高校生活で真の友情を感じとれるか。」

	男子	女子	全体
感じとれる	34%	48%	39%
感じとれない	26%	23%	25%
わからない	40%	29%	36%

「何でも話せる友人」がいながら、真の友情を感じとれる人が全体の四割弱というのは、何ともさびしいことです。

意外に冷たい

「異性の生徒が困っているとき、知らん顔するか。」

	男子	女子	全体
知らん顔する	15%	10%	13%
しない	28%	28%	28%
人による	57%	62%	59%

「知らん顔はしない」と答えた人が男女とも3割ほどいて、一応安心しました。中には

「誰であろうと困っている人を助けるのは、当然のことである。」という心強い意見もありました。でも実際はどうでしょうか。文化祭や体育大会等の状態を見る限り、「人による」というのがかなり幅をきかせているようです。ぜひ、人によらず協力してほしいものです。

やっぱり

男女は仲がいい？

「異性の人と平気で話ができるか。」に対して「はい」と答えたのは、男子55%、女子74%で、やはり男子の「テレビ屋、恥かしがり屋」の多いことを物語っているようです。2号では女子で「はい」と答えた人はたった23%で、18年間に女性はずいぶん強く（あるいはずうずうしく？）なったようです。

「用事のない限り異性と話をしない方が。」に対して、「しない方だ。」と答えた人が男女ともほぼ45%、「そうではない」人が33%、「わからない」22%でした。時と場合にもよるでしょうが、教室で用事もないのに男女が話している光景はあまり見ませんが・・・この数字には願望も含まれているのでしょうか？

何ごとも経験!?

「今、特定の異性と交際しているか。」

一年 二年 三年

交際している 11% 18% 17%

していない 89% 82% 83%

(参考までに解答率 67% 95% 52%)

全体としては、6人か7人に1人は誰かさんと交際しているということになります。

「意外に少ない。」「意外に多い。」「こんなものか。」等の解釈は、読者のみなさんにお任せします。「交際の影響」で、良かったところとしては、「考えが広くなった」「勉強が好きになった」「男らしくなった」「女らしくなった」等があり、これを見る限り「何ごとも経験だ」の精神で大いに結構ということでしょう。一方悪かったところとして、「成績が下がった」「帰りが遅くなる」「お金がかかると」等があげられており、相手への気遣いが原因となることが多いようです。またともに「なし」と答えた人はどういうことでしょうか。ただ夢中(あるいは霧中?)なのでしょう。



編集を終えて

「大手前生の真の姿を浮き彫りにしよう。」という大それた意気込みで始めてみたものの、終ってみると、やはり表面的にしかとらえられなかったのではないかと、という感はぬぐえません。しかし、みなさんの貴重な時間を拝借して十年振りに行なった大アンケートはそれなりの意義があった、と不敵にもささやかな自信を感じております。

これから先、またこういう企画を実行する

時の少しでも参考になればと思い、ここまでの過程を簡単に紹介します。まず質問内容・数について。突っ込んで探ろうとすると膨大な数になるので、自治会・行事に関しては今回はカット。それでも百問余りになり、なんとか最終的には六十問になりました。次に、全校生徒に実施したものの、学年・性別を書く欄が三枚のうち一枚だけにしかなかったのと、収集方法が各クラスの文化委員に徹底していなかったため、これらを分類するのに計画外のひと苦労。そして集計は、コンピューター採点であるわけがなく、まさに地獄と形容されるにふさわしいものでした。全体的にみて、担当者の見通しに恐るべき甘さがありました。(たいへん勉強になりました。) そういう訳で、「大満足!」とはいきませんでした。しかし『スプリング』に載せてほしいものに比較的多くあった「全部の先生の紹介」「クラブアンケート」「昔のスプリングの内容紹介」が本号で実現したことは、とてもうれしいことです。

最後に、集計を手伝ってくれた文化委員、特に三回とも来てくれた神様のような方、メモリー付電卓を貸してくれた方、及び解答してくれたみなさんに深く感謝します。

交歓試合中止より三年

北野訪問記

まず驚いたのは応接室のムードの固さでした。僕が感じたこの固さは北野の真実の姿の一端だろうと思うけど、冷たい長方形の机を以て座談会形式のインタビュウ等という予想外の事態で、用意してきた質問がほとんどどこかへ吹き飛んでしまいました。

北野がどんな学校かは、次の諸事実より御想像下さい。

1..信じ難い事に全校の遅刻者一日二人未満。遅刻者は始末書を書かされるとか。(本校でやったら用紙の印刷が間に合わない)

2..休み時間ももっぱらトランプを。主にナポレオン及びリッチマン。

学校側の対応は、禁止、黙認の二つの形態のメゾメリーのようです。

3..ロングHRのプログラムには、「瞑想(お昼寝)」。「校内研究(校内お散歩)」等のような物もチラホラあるそうです。

4..体育は真の地獄。夏は長辺方向に12コースもある50メートルプールで一日500メートルずつ泳がされ、冬は北野マラソン、一名「断郊競走」で男子10キロ、女子6キロ走らされるとか。大手前三大苦業(マラソン、水泳訓練、あと何だろう)の比じゃないね。

5..文化祭は、模擬店禁止のため、「縁日大盛況」のような現象はありませんが、北野の先生は「実にくだらん内容」の映画が氾濫したなど娯楽に流れる傾向を嘆いておられました。しかし一方映画には、「全国高校フィルムフェスティバル審査員賞」を勝ちとった一九七七年・二年八組の「紙ひこうき」他、数々の力作が文化祭を

盛りあげている、という意見もありました。

6..大手前の印象等も聞きたかったのですが、北野では大手前その他高校の噂など特に話題に上らないし、名前位しか知らない、という事でした。「外を気にするより自分達の内部を見つめる事の方が大切ですから(かっこいい!)」と言った人もいました。しかし考えようによっては、大手前でも噂に昇らない高校もあり、それと同じだと考える事もある程度はできそうです。

親切で親しみやすかった執行部の人達に案内してもらって校内見学。ちょうど「六校交歓演奏会」というのが開かれていて、天王寺、三國等も来て講堂でオーケストラが演奏するのを聞かしてもらいましたが、正に圧倒的でした!北野交歓試合は双方の意見のくい違いで廃止されたので再開は困難という話ですが、クラブの交流で代える事ができる、と北野の先生はおっしゃいました。この演奏会のような交流ができれば本当に素晴らしいと思いました。

新しい体育館や体操器具、視聴覚教室等の設備やうらやましいような部室等がある反面、校舎に機銃掃射の跡があったりして、歴史というか、老朽というか、流石に大正年間の校舎だなあと感じます。自治会室は更衣室の隣にあって壁には穴が開いているという噂を聞き、新築食堂の自慢料理ミソラーメンの味を想像しつつ、小雨の中を北野高校から戻って来ました。

ちよつとごうらやましい旭ペース — 旭訪問記

お相手してくれた会長氏は、激戦の末対立候補を破って生徒会を組織した実力者です。質問一「一口に言って旭高とはどんな学校ですか？」答「最初から難しい質問ですね……」何でも旭ペースという物がある「at home」なムードだとの事。ノンビリしてゐるのはいい事ですね。そのためかどうか、多数派の人は朝、遅刻寸前に自転車又は徒歩で、単独又は特殊な二人（約二割）、又は団体で校門をくぐるそうです。朝のHRはなく、すぐに授業開始。授業中は我々のように健康的に睡眠をとる人多数。休み時間は球技大会の練習もかねてボール遊びに興じ、昼のショートHRで議事等は片づけて、金曜のロングHRでは百人一首の会などで楽しむとか聞きました。

クラブ活動では、例えば物理クラブのアマチュア無線、筆曲部やコンピューター同好会等の珍しい部もあり、放送部は去年から設備を整えて昼休みにDJをするとか文化祭を事実上主催する等しているそうです。生徒の半分位が運動部に、二割強が文化部に参加している、残りは下校部。男子バスケットが府下八位、テニスが府下三位等の成績を収め、山岳部が南アルプスで遭難しかかった等、なかなかよくやっているとありました。ブラバン、落研等の人は羨しいと思います、同好会が三年続くとクラブに昇格できるとの事です。文化祭は六月頃から準備を始めて九月に映画、劇等で撃突！週末二日間校内を文化祭一色にして盛況。高水準な映画、教室等でも上

演される劇等が主です。縁日等は衛生、金銭面や伝統という代物の問題で禁止されているせいもあり、また縁日等しなくても他にやる事はある、という意見も強くて行われていないそうです。二日目の夕方はフォークダンスを。去年からの行事で、今年二回目という事もあってか大変盛り上がったそうです。第二部運営に苦勞している自治会の方は見学してみてもいいのでは？この後、いずこも同じように公然の秘密になっている夜の巷のアトラクションがあります。当然。

その他、全校参加の合唱コンクール、球技大会等の行事があるということですが。

校内を一周見せてもらいましたが、広いですねえ。大手前が狭すぎるというべきなのでしょう。新しく綺麗な体育館（「規格品で舞台が高すぎて恐いんですよ」と会長氏。筆者卒業の時分には本校にも同様なのができるそうですが、舞台から落ちないように）の横では、野球部がゴムとびというか、縄とびというか、とにかくユニークな「大波小波」のトレーニングをしていました。

大手前について聞くと、ここでは他校にも関心が強いようで、文化祭に来た方も多しとか。大手前に多少コンプレックスがあるという話で、「まあ気にしないで旭ペースでやっています」と会長氏。

その親切な会長さんに「いつでも遊びに来て下さい」とお決まりの挨拶をして、旭高の校門を出ました。

特集Ⅱ

スプリング二十年の歩み

スプリング二十周年記念号の特集第二弾として、「スプリング二十年の歩み」を企画しました。その一環に、スプリング創刊号の編集者の一人である、山口高弘さんに当時の模様を語って頂きました。

山口さんは、在校中、二年生の後期に自治会副会長、その他音楽部部长を努められ、昭和三十七年に本校卒業後、大阪大学経済学部を経て、現在、商社丸紅にてご活躍中です。

― スプリング発刊の発端は何だったんですか？

当時、高津高校で、北野高校や大阪の他の学校の自治会役員が集まって、活動話し合う会合があったんです。そこで、高津高校に文化系クラブ活動発表の場としての雑誌があったのを見せてもらって、それがなかなか出来の良い物でね、そういった発表の場というもの、大手前でも作ろうじゃないかという事になりました。ところが、時期が三学期だということ、作ってそれがはたして売れるかどうかということで、結局は、新入生を対象にすれば、まず、さげけるだろうから、それを目的に、クラブや自治会活動の紹介を主体としたものになったわけです。

― では、それはお売りになったんですか？

売りました。最初は、職員会議でも、売るといふ事が、多少問題になったようですが、出来上りを見て、これならいいだろうと言われて、一部五十円でした。（後に山口さんから訂正があり、実際は

一部三十五円だったそうです。）この五十円というのが、高いと思われないか心配でした。参考までに言うと、当時、大野さん（現マスターのお父さん）が経営してらした食堂では、カレーライスが三十七円。ぜんざいが二十円。お米一合持って行けば、米券というのをくれて、それが二十円分、つまりカレーライスが十七円で食べられましたね。環状線がまだ城東線と違って、どこまで乗っても二十円だった頃の話です。

― それで実際にはどれ位売れたんですか？

四百部以上はあったと思います。新入生の四百人は、よっぽどへそまがりな人を除けば、ほぼ全員買いましたし、二、三年生でも何人か買っていましたから。ところで、もう一つ「うたごえ」という歌集は続いているかな。「うたごえ」の創刊もこれと同じなんです。こっちは一部十円だったと思います。こっちの方もサッと売れたんですよ。というのも、二年生の修学旅行が春休みにありました



から、みんな旅行のバスの中で歌うものとして買っていったようでした。

— 編集はどのようになさったんですか？

その時の自治会会長の横田捷広君と、文化部長の吉田篤彦君と僕の二人で分担して、試験中の短期間に仕上げました。横田君は自治会関係を受けもって、僕は雑文とか、その他に印刷屋との交渉なんかもやりました。又、予算が足りないものだから、何とかならないかと思つて、コンタクトレンズ屋二、三軒まわつて、バアツと広告の注文とつて来て「うたごえ」とこれとにわけたり……。そんな事から、僕は実社会向けなのかなと思つて、今の職業決めたんですがね。

— とこゝろで「スプリング」の名の由来は

これは一般から公募しました。たいして集まらなかつたようですが、その中で比較的無難であつたし、なんといつても、横田君の文章（注・本号巻頭言）で、これだ、と思ひました。それと「うたごえ」この名前も同時に募集したわけですが、その二つの名前の採用に対する景品が、オリオン座という映画館の映画のチケットなんです。僕がそこで広告の注文とつたんですが、代金の代わりに、チケット二枚くれましてね、まあこんな公募のお礼に現金というのもおかしな話ですし、ちよつどいいやと思つて。その頃僕らの一番の娯楽と言へば、テスト終了後に映画——主に洋画系でした——を見に行く事でした。オリオン座ですか？いや今はもうありません。

— 当時の大手前の男女比なんかはどれ位でしたか？

えーと、男子対女子、二百五十五対百四十五か、二百六十対百四十位だったかな。二年になると家庭科コースで女子のみの一クラスが別にできたし、三年も理系はクラスの中で、ごそつと女子が少な

くなりましたね。一クラスに女子が五人位だったり。そのかわり、その人達はなかなか優秀というか、こわいというか（笑）まあ、大手前の女性というのは大変えらいですな。やっぱり。中に入ってたからわからないけど。注・インタビュアー三人は、全員女性でしたので、多分に社交辞令かも……？

— 創刊号のクラブ紹介によると、現在ないクラブに、弁論部、社会研究部、ワンダーホーゲル同好会などがあつたようですが、どういう活動だったんですか？

僕も、その学年に一名も部員がいなくなれば、部をつぶすというので、弁論部にひっぱり込まれたんですが、わりと活動は低調でした。これは余談ですが、それでも、私と一年の女の子で府の大会に出た時、一位と二位をとつて帰つて来ましたよ。（笑）予選は七位、八位のぎりぎりです。本選で、即席弁論といつて題を与えられて即興で弁論するのを、他の学校の人はカチツとまじめにやりすぎてね。僕らはいいかげんな気でやったから、それが良かったんですよ。（笑）

社研部は、世の中の色々な問題——人種や政治なんか——を討議する主義主張の場、みたいなものでしたね。

ワンダーホーゲル同好会については、良く知りません。

— 当時の自治会活動はどんなものでしたか？

そうですね。文化祭や運動会をうまく運営するとか、各クラブの調整というのか、予算の配分とかをやつてました。活動について言へば、僕らの次の年の自治会が大変文化祭や運動会を盛り上げましたね。自治会祭を作つたのもその年でした。僕らはわりと地味やっただですよ。その頃の自治会というのは、会長なり、副会長なり、や

ろうという人が中心になって書記も、会計も自分達が声を掛けて選ぶという、一種の内閣みたいで、選挙では、それ全体の責任を問うような雰囲気でした。

最後に、大手前あるいは御自身の高校生活をふり返つて、どう捕えておいでですか？

そう、一口に言えば壮絶な時代でした。中学校から入学してきた途端、カルチャーショックみたいなものを受けました。第一、数学なんか中学校で予習した事なかった。それがして行かなきゃならない。まあ中学校でテングになってたからよけいにきつかった。それで、私自身いわゆる優等生ではなくて、そんなうっぶんというか、自分のエネルギーを勉強以外の、自治会活動なんか振り向けた形でした。ですから三年間が長かった。今となってみたら、自分の気持ちのやり切れなさがわかるような気がします。それでも、横田君―彼は現役で、東大通ってます。―みたいな大秀才と一緒に活動できたのは大変なプラスでした。大手前のいい所は、秀才と落ちこぼれが、友達になれる所にあるんじゃないかな。今、考えたら、この学校は、上品で、センスがあって、まじめで。受験校でありながら男女共学というのがよかったです。

国際ホテルのロビーで会見した山口さんは、こちらから色々質問することなく、私達の聞きたい事を、うまくとめて説明して下さいました。(さすが、元弁論部)その時、こちらから持って行った創刊号を、山口さん御自身も持って来てらしたのが、大変印象的でした。二十年たっても、何となく手許に残っている。それが、"スプリング"の価値かも知れません。

創刊号 目次

巻頭言―クラブ活動へのすすめ …… 学校長
新入生諸君に― …… 生活指導、自治会顧問、文芸部顧問の諸先生方

座談会―高校生活とクラブ・自治会活動

クラブ紹介―文化クラブ、十七部 運動クラブ、十八部

クラブ関係資料

自治会とはこんなもの

先生の高校生活―

懐しい

昔の思い出

二名

クラブ研究発表

地歴部

弁論部

文芸部

美術部

理研部

E S S

一般投稿

読後感想

随想



先生方の回想記

発刊二十周年に寄せて

大倉清校長先生

スプリング発刊二十周年に当り明治十九年以来九十三年に及ぶ本校の歩みの一端をふりかえってみたい。

明治維新以来の太政官制から初めて内閣制度が創設された第一次伊藤内閣の初代文相森有礼が帝国大学令、中学校令等を定めてわが国の近代的な教育制度を確立したのは明治十九年（一八八六年）のことである。この学制改革に伴い大阪府立中学校（現北野高校）は「大阪尋常中学校」と改称され、また、大阪師範学校女学科から独立した「大阪府女学校」が北区常安町（現在のロイヤルホテルの位置）に開校したのが本校創設の第一歩であり中之島高女時代の幕明けとなる次第である。当時の大阪毎日新聞によれば「十九年九月に告示された大阪女学校規則中、生徒授業料一ヶ月二十銭を十一月から四十銭に改正する」とある。日銀の「経済統計」によれば当時の大阪堂島の米相場が米一石五円六十六銭であったから授業料年額五円は米一石分にあたる。従って女学校進学者は極めて少なく、この年明治十九年における全国の高等女学校の数は本校を含めて僅かに七校、その生徒数も総計九〇〇名にすぎず本校の第一期生も本料七、別料十四の計二十一名という少ない状況であった。

創設期の特筆すべきことは開校の翌二十年二月に皇后陛下が本校に行啓され生徒の学習を親しく観覧されたことである。校門を入ると直ぐ右側に建っている記念碑（行啓五十周年を記念して昭和十二年に建立）によっても諸君の承知しているところであるが、本府の

各高等学校の現在までの歴史において陛下の行幸されたのは本校のみでありこのことが本校建学精神の基盤となっている。

その後、第一次産業革命の進行と国力の充実に伴い中等教育も次第に普及し、日清戦争中の明治二十八年に第一（塚）第三（八尾）第四（茨木）、翌二十九年に第五（天王寺）中学校が相ついで開設され、女学校についても明治三十三年に清水谷が誕生したのである。この時期の女学校の生徒は「女子の最高学府」に学んでいる自信と誇りをもち温雅貞淑にしてよく規律を守る学風を育んだ。

明治三十五年、中之島では校地が七五四坪にすぎず極めて狭隘であるので北区堂島浜通り（現在の阪大病院の位置）に移転し校名も堂島高女と改めた。校地五〇〇〇坪の地に玄関はコリント式の柱、本館は二階建口ベンキ塗りで当時珍しいガラス障子をもつ堂々たる建物であった。ところが間もなく明治四十二年七月の炎天下に北区天満橋に起った火事は三日間燃え続け民家二〇〇〇戸を焼失、本校も類焼の難にあい梅田に移転することになった。

大阪の表玄関梅田駅の北側（現在は貨物駅となっている）に敷地六〇〇〇坪、洋風二階建の立派な校舎が新築された。運動場も広く端の方は草原となっており空地に恵まれない市民の憩いの場ともなっていた。生徒数も六〇〇名から漸増して一〇〇〇名となり修業年限も大正十年から五年制となった。大正十一年には高等科が初めて設置され大阪府における最高の女子教育機関となり、梅田高女は京阪神の才媛を集め全国にその令名をうたわれた。

次にいよいよ大手前時代に入る。梅田高女は貨物駅に近いため馬車の往来繁く通学路も危険となつたので二、三の候補地の中から砲兵方四連隊が信太山に移転した跡、大手前の地を選び校地三六〇〇坪、鉄筋コンクリート三階建（府下中等学校では最初のもの）の現

校舎が新築され移転して大手前高女と改称したのが大正十二年のことである。当時は府庁も市電もなく昔のままの杉並木であり西側は草原となっていたので生徒は放課後三々五々四つ葉のクローバを探して楽しんだ。服装は明治から大正にかけてえび茶の袴に木綿の紺又は紫の緋であったが移転の翌年大正十三年から初めてセーラー服を着るようになり頭の髪も束髪からお下げになりいよいよ現代風の大手前高女となった。梅田高女から大手前高女にかけての時期四十年間は本校も女学校として名実ともに完成された時代で京阪神随一の名門校となり入学競争率も五十倍で各小学校から僅か一名あてしか入れない難関であった。移転時の校長雀部先生は教育目標を人格主義と知識能力の向上におき、例えば英語では二人の外国人教師を招へいするなど女子教育の向上に努められ和やかで明るく伸び伸びとした校風を醸成された。「いつの日にか生い茂る日を楽しんで」と云われて校長室の窓ぎわに植えられた一尺の蕨の苗は今日校舎一杯に茂り青葉のヴェールをかけているのである。

昭和二十三年、学制改革により北野高校と職員生徒が交流して今日の男女共学の高等学校に生まれかわり、学区内の中学校卒業者の第一志望校となった。此の間運動場を大きく拡張し本校の発展に尽された佐藤元校長の功績は殊の外大きいものがある。創設以来九十年間に本校は中之島、堂島、梅田、大手前と四度校地を移しているが、校歌にあるとおりいづれも「とこわかかの情の象徴大淀の流れ」のほとりに在って近代日本の歩みとともにその歴史を刻んできた。「大城の大手の前に学ぶわれら」の前には希望と栄光が輝いている。「大手前に来て大手前の良さを知り、大手前を去ってまた大手前の良さを知る」との浜中前校長の退任のご挨拶の言葉は二万人に及ぶ諸先輩の気持ちをよく物語っているものと云える。

随 想

平 正人先生

昭和29年4月6日、大手前高校英語科に欠員があるというのでやってきました。採用されなくとも、顔を出したというだけでも親への言訳がたつから、東京に帰ればいろいろの気持ちでした。事務室のダルマストロブを前にして待つこと小一時間、ひどく恰幅のいい人物が入ってきて、「あんたかね。明日から来て下さい」。それだけでした。この、校長先生のおおらかさを嬉しいと思いました。

校庭もおおらかでした。グラウンドは草原でした。西側と南側には、府の官舎の塀がありました。北側は、石垣をとび降りると地道があつて、その先が又草原でした。旧京阪天満橋駅（現OMMビル）まで、大阪城の名残りをとどめる、いくつかの石垣をとび降りて行けば直行出来たものです。今のコートだけで、野球、サッカー、ラグビー、バレー、テニス、それにソフトボールまでが、部活動をしていたのです。体育館と新館はなく、金蘭会館は、まだ、空襲の残骸のままでした。

学生の頃には、教師にでもなるしかなかったら、せめて女学校の先生になりたいと思っていたのですが、夢と現実の距りの大きさを就任第一限目に思いしらされました。三年一組、女生徒ばかりの就職組。21番教室のドアを開ける、一瞬双方にらみ合つて静寂。次いで不可解なしのび笑。私は足に震えがきて教壇につまづきます。しのび笑いがくすくす笑いに。血が頭にのぼって、目頭があつくりました。教卓にむかつて立つと、再び無気味な静寂。思い切つて口を開くと、とても自分の声とは思えぬので、つい苦笑すると、今度は遠慮の

ない笑い声。それがなかなかおさまらないので、身なりでもおかしいのかと、頭髮やネクタイ（しめたのはこれが最初）に手をやると、そのつど笑い声は大きくなるばかり、日本女性はどうしてこうも無意味に笑うのかと腹立たしくなって、天井の一角をにらんで、ひたすら話しつづけましたが、何を話したのか覚えていません。二限目に、かなりの数の男子生徒のクラスに行ったときの、男のなつかしさ。実は、私には男女共学の経験がなかったのです。

私は、定時制職員ということだったので、講師で全日制22時間、通信制12時間の授業をしました。専任としての定時制14時間と合計すると、実に、週48時間授業でした。その上、一日に一度は、校長先生か、英語科主任が授業を観察に、そして、何度も研究授業を命ぜられました。とにかく、朝8時半に登校、定時制が終るのが夜9時、それから、通信制の添削をすませると11時になりました。それで、月の半分は、宿直の先生に交代してもらって学校に泊りました。或る晩、連絡が十分でなくて、帰宅することになったのですが、市電（校門前の通りに市電が走っていました）の回数券も、小銭もなくて、夜道を歩いて帰りました。純情だったのです。

とにかく実に多忙でした。7月、期末考査が終ると、野球部と水泳部の合宿、何故か、各部が合宿になると、私は顧問になっていました。終業式後は31日まで補習、8月1日登山、5日臨海に出発。次いでバレー部合宿、21日からは、又補習といった日程。おかげで、論文を提出できずに、大学院は退学になりましたが、気にはなりません。生活が充実していたのです。

僅かな空き時間をみはからって、朝日アリーナ（今のグラウンドホテル）にスケートに行きました。スクール"8"位は滑れました。

年末手当は全額をスキー用具に使い、せっせと休日にもスキー場に通ったおかげで、登山部スキー班は数年後近畿大会に参加するまでになりました。テニスは少々やりすぎでした。卒業アルバムで皮肉られ、野球部員にはあいそをつかされる仕末。かわりに、女子ソフトボール部（すぐ廃部）の練習に励みました。その上、全定通職員で混成のソフトボールチームを作りました。これは強かった。甲子園経験者が2人もいたので、教職員大会に参加すると、たちまち準決勝戦まで勝ち進み、国体出場チーム春日丘に4-3で逆転負けしました。私のエラーのせいとか。

それと、生徒と、よくもめ事をおこしました。仮装行列で使用禁止になっていた火を使ったというので、行列を阻止したら、つるしあげを食いました。文化祭では、番外の演説した生徒と、舞台上で追いかけてこをして、当日随一の見ものになりました。逆に、知らぬ間に、私の墓碑の模様に押し込まれて、体育祭のデモンストレーションに参加していたこともありました。

このように、本人は忙しげに、結構充実感をもって、暮らしていたのですが、周囲の人々からすれば、批判も多かったことでしょう。或る卒業生が、いみじくも申しました。「先生なんか、大手前だから動まったんですよ」と。ほんとうにそう思います。こんなわがままを二十数年通させてくれただけでなく、スポーツをおぼえさせてくれ、その上、なんとなく教師らしくなるまでに育ててくれた、大手前高校のおおらかな校風に感謝しています。

大手前在職二十数年のことを書けという注文でしたが、二十数年前のことだけで終ってしまいました。機会がありましたら、いづれまた。

二月の小春日和のある日京阪電車を降りたのは天満橋であった。当時は天満橋が終着駅で今のO.M.Mの建っている所が駅舎であった。そして駅には小さな阪急百貨店(京阪でない!)がでんと店を構えていた。大手前病院の坂を上った所で初めて大阪城の高い石垣と深い堀を見たのは印象的で今もはっきり記憶の中にある。大手前高校の校長室で佐藤校長(今の金蘭短大校長)月から府立大手前高校の教師として勤める事になったのは今から二十有余年の昔である。昔話が出来た様になったのも自分が年を食った証拠であるし、余算山の端に近しと云う事にもなるのかなあ。

ア 校舎 運動場 金蘭会館

昔も今も変わらないのは校舎の古さ。初めて校長先生に会った時に「きたないですね」と云った。先生は変な顔をして居られた。教務室は教官の数は少なくゆったりしていて机は今と直角の方向に並べてあった。運動場は現在のテニスコート(小運動場)の場所しかなく分狭い運動場であった。月曜全校集会は現在の道場が体育館でその場所で行なわれていた。(想像もつきませうか。あの狭い所に全校生徒が集会するなんて。バスケットボールの試合では天井にボールがあたる事がしばしばあった)又金蘭会館には補習科(II大学進学に失敗した生徒を収容した科II予備校みたいな科)が二クラス存在していた。新任の教師にはずいぶん大きな生徒の集団に見えた事か。

イ 生徒 授業

昔から素質の優秀な生徒が多く国立大学へ入学する数も次第に増大していた。中学は船場及び東の卒業生が多かった様に思う。数学、英語の授業はきびしく毎週試験を行い補習も7月一ばい。八月二下

今は昔

稲川正義先生

役員会が持たれた。(日曜日に)京阪電車の沿線はどこも広々とした田園風景を見せていた。

オ 終章

天上影は寝ねど世は移り変わる。数多くの生徒諸君に接し又送り出した。彼等彼女等の多くは社会でりっぱに活躍をしていると聞く。最近本校では理科棟が出来間もなくテニスコートに体育館が建つ。更に校舎が改築される日も遠い将来でないと聞く。古き良き時代は急速に去りつつある。今後は本校もどんな風に変貌をとげるであろうか。

日から月末迄更に春休みは勿論正月休みも十二月二十九日位迄せせと授業をしていた。担当授業時数も補習科を入れて二十三時間位の時があった。

ウ 学校の近辺

近辺の建物は南側の府庁と北側の国民会館位で(大)運動場と合同庁舎のある場所は陸運病院の跡とかで一面の広場であった。学校が終ればその広場をななめに横切って京阪の駅へ急いだものである。京阪は終着駅が天満橋であったので乗客が多く天満橋付近はもっと賑やかであった。又路面電車のあったのもその頃で修学旅行に行く

のに天保山へ出るために天満橋から一時間近くもかかって集合場所の港へ行った事がある。

エ 京阪沿線

当時同窓会が寝屋川に農園を持っていた。農園には大きな建物があってその場所でPTA

回想記 「体研二十年」

伏見敬治先生

このたび編集子より回想記の依頼を受けて筆が進まず困り果てた。何とかせねばと、表記のテーマに変えてまとめることにした。私が本校の校門をくぐったのは、昭和三十五年四月だった。正門の学校名の表札がうすれて、消えかかっていたことを何故か印象に残している。しかし玄関から入った校舎内の廊下は、清掃のよく行き届いた古さの中に、重々しい伝統のある雰囲気を感じた。当時、この校舎には、全日制課程、定時制課程、通信制課程の三世帯が同居するという、めずらしい大家族の名門校だった。その世帯主の校長が佐藤一男先生（現金蘭短大学長）で、私の本校での最初の出会いは先生だった。

その年一九六〇年の世相は、歴史に残る安保闘争の時代であり、国民運動のはしりとして誰もかれも関心を向けた時だった。一方学園内は新学制発足から十年の歳月を経て、共学六三制の成果の表れを見はじめるころでもあった。なかならず本校の進学指導の方針と実践は、府下全体の視聽を集めたものだった。当時の本校生の学習ぶりは北野高校生をして「大手前の女子生徒は、四・五時間くらいしか寝ない」といわせしめるほどの頑張りだった。

その年の八月、佐藤校長先生のご尽力で、体育館建設用地として、現体育館の敷地を拡張し、翌年七月建設工事が完了した。北側二階に体育研究室が誕生したわけである。私もさっそく、その幸運の住人になった。当時の体育科の諸先輩は、綿谷先生（現金蘭短大教授）、八倉先生（現東大阪養護学校長）、山本先生（現堺市立幼稚園

長）、高原忠俊先生（現福井県庁）、そして、高谷先生の諸先生方だった。以来二十年近く、その体研の窓を通してみる本校の体育を、つれづれなるままに回想してみることにする。

そもそも、本校の体育の授業はシーズン制循環方式、即ち毎年同季節に同種目をくりかえして、二年間で目標に到達していかうというカリキュラムの伝統である。シーズンごとに校内大会を設定して授業中の学習のねらいを明確にしているわけである。大手前生となつた以上は、学業を志しているはずであるけれど、全校生徒内の交流をはかるうという校内大会の意義には、毎年シーズンごとお互いにゆずり合う気持ちと、皆が楽しもうという気持ちがぶつかりあって、それは実に活気のあるものだった。

当時の本校の体育的行事の代表は、次のことからであった。
北野スポーツ交歓（現在中止されているが毎年六月頃行われた北野高校とのスポーツ交歓会である。種目は体育の授業の延長としてバレー、陸上などで全校生の対外試合を主目標とするもの。）

一年水泳訓練

臨海（白浜、小豆島、犬の橋立、淡路島）

夏山登山（槍岳、立山、白馬、富士山）

水泳大会（校内大会）

体育大会

対夕陽丘高校定期戦（ラグビー、サッカー）

スケート教室（昭和二十七年頃より桜の宮スケート場）

耐寒訓練（大阪城マラソン）

野沢スキー（有志による野沢温泉スキー場でのスキー講習会）

さて、昭和三十七年本校は国友校長をお迎えし対北野スポーツ交

敏は一層興味を深め、先生の母校でもあって校長を投手とする職員ソフトボール大会等は生徒のバレーボール対抗、陸上のリレー、走り巾跳び、走り高跳び等の種目以上に、観衆を集めて大盛況だったほどである。又、夏の一年水泳訓練は、三十五年以来の羽衣海岸から本校プール三日間と須磨海岸二日間の遠泳に訓練方法と場所を変えざるを得なくなつた。何故なら海岸の汚染がこの頃から始まつたからである。一方校舎内は現講堂下の雨天体操場を現道場に改築し、体育時に柔道を取りあげた。三十八年、荒井先生が着任され、ラグビーの新風を授業に展開し、先生自身、府教職員チーム、国体選手として活躍され、その後はチームのリーダーとして内・外ともに活を入れられた時代へ続くのである。本校の伝統ある授業の中で刺激と変化のあるのは、若くて新鮮な新任先生の転入によることが大であった。本校は昭和二十五年以来対夕陽丘高校とのラグビー、サッカーの定期戦を毎年十月下旬に行つて来た。長い関西宮球技場を使って行われたが服部緑地に場所を移し貸切バスで応援団を編成して行ったものである。

東京でオリンピック開催当時の本校の体育行事の華、体育大会は、学年対抗の全盛でやぐらを組んで応援合戦をする裏方さんの深夜に及ぶ作業がつきものの行事だった。

四十年に水泳訓練は、いよいよ海岸訓練をあきらめ、現行の服部緑地プールに五日間の集中訓練方式に踏みきつた。当時は、十三經由の阪急線利用だった。いわゆる伝統の一年水泳訓練が始まつたわけである。台風の前、水不足の四十七年、いろいろなことがあつたが、苦しみがあれば深いほど、思い出はなつかしく残るようである。もともと「身の毛がよだつほど恐ろしく苦しい」と評された年もあ

つたが、高一時代の集団訓練として、大切な試練だと思つている。話は前後するが四十二年坪井校長となりその年の夏山は富士登山だった。秋には全国学校体育研究会の参観校として、体育の授業が大坂府の御三家と称された、天王寺高校、北野高校と共に会場を分かち紹介された。普段と変らない、ありのままの授業が見学され、本校生の自主性に富んだ学習ぶりが遺憾なく発揮された。

四十三年、八倉先生転任され、生れが信州、大学が東京、現住所が茨木のバスケットボールの庭野先生が登場する。バスケット部の活気がぐつと盛り返し、その後の運動系クラブで抜群の活躍となつて来たことは、その後の実績が物語っている。自治会運動部が会員の望む要望に答えて、新しい試みを行うため努力したのも、この頃である。即ちオールスター戦を実施したり、テニス講習会、トロフィーの設定、体育大会のアンケートを実施したことなどである。

一九七〇年（昭和四十五年）は万博の年だった。山本喜美先生が府教委保体課に業転され、田中トヲエ先生をお迎えし、心理学にあふれた保健の楽しい授業が始まった。又、体育大会の行事日程が九月に繰り上つて行われるようになってきた。

四十六年浜中学校長を迎え、体育科には、講道館柔道五段（現六段）の河崎先生が着任された。柔軟な体躯通り、社交家である。技のきれば、その後ますますさえてきている。当時自治会は制服問題に関心が傾注し「…学校内だけの不平等……」との声が聞かれた。

四十八年田中先生が転任され、泉田、田中敏両先生が粹なアベックで着任された。当時大手前体育科はモダンな体研に変身した。体育の授業に聞くダンス音楽、運動場のハイセンスな陸上競技指導法等は、大へんな新風であった。プールが狭い、運動場が狭いと盛

んに言われたのも時を同じくする。

必修クラブ活動が始まった。また、対北野スポーツ交歓の反省として、両校生の意志の疎通が充分でないことが挙げられ、存続検討が起ったのもこのころからである。体育大会はクラス大会の様相でクラス独自のゼッケンや旗が用意され、団結がみられた。

五十年高校体育が男子十一時間、女子七時間となって、男子の武道の時間が特設された。ここに河崎先生の格技指導が徹底してくることになり小気味良い刺激となった。

五十一年、現大倉校長を迎え、永くお世話になった綿谷先生と別れ、スマートなスケーターで剣道に強い新進気鋭の石川先生が転入された。いよいよ若返ったのはこの年である。両校の友好及び三原則をうたいながら、毎年連戦連敗を重ねていた対北野スポーツ交歓も内容をバレーボール一種目として単調化した。この年、大手前高校は創立九十周年の年だった。体育大会はクラスの親睦に役立ち、伝統的な耐寒訓練も大阪城マラソンと名をうって行事は続いた。

五十二年、対北野戦は中止し、校内バレーボール大会と名を打って、大ベージュントを展開した。そして今年待望のバレーボールの雄、高塚先生を迎え、授業にクラブ活動に、若き青春の火花が散っている。生徒諸君の代表でバスケット部から天野君が国体へ参加して新風に応答してくれた。(過去奥田(スキー) 阪田(水泳) 前川(剣道) 楠(水泳)の諸選手が全国大会に参加している)

工事のさなかに体育活動を進めつつ、第一期建設の理科棟は見事に完成した。又第二期建設工事が再開する。それが新体育館建設の鈍音である。この狭いながらも楽しくてなつかしい「体研」はいつまで住めるのであろうか。

修学旅行を詠む

——その二——

。青島・日南海岸にてよめる

二年五組 上平泰司

青島をとりまく鬼の洗濯板清き潮にて何をか洗ふや

。鵜戸神宮にて連玉投げける時によめる

二年九組 後庵良司

祈りつつ連玉投げてまとをいる心は清し鵜戸の神宮

。都井岬にてよめる

二年十一組 中村ゆかり

野生の馬恐れを知らずバスに寄り驚きもせず顔を向けたよ

。鹿兒島・桜島にてよめる

二年五組 大村 茂

灰ふりてすべてが白き街ありきこの地にもまた人生きるなり

二年十一組 岩本正樹

白煙の絶え間に写る山並を今がチャンスとシャッターを押す

二年十一組 吉田奈穂美

石垣に激戦のあとをしのばせて弾痕今もなまなましかり

。開聞岳・長崎鼻にてよめる

二年七組 島田順二

おとなしく海のむかふにそびえたつ開聞岳の澄みて秋なり

二年十一組 北奥規久子

海くらげ岩のすきまでゆらゆらとかさを広げて潮にただよふ

。谷山港を出航せし時によめる

二年五組 楠田康至

谷山港わかれの音が響く中船は静かに岸を離れる

行事紹介

クラスマッチ

大手前生の欲求不満の解消の場となるのが、このクラスマッチ。どこにそんな日数があるのかと思うほど、定期テストの間をうまく縫って行なわれるし、どこにそんな時間があるのかと思うほど、泥まみれになって皆ひたすら練習に励む。三年生さえも受験などどこ吹く風という感じで、当日には、蓄積したエネルギーが爆発する。先生方は、そのエネルギーをもっと授業中に爆発させて欲しいと思っておられるでしょうが……。

まず一学期、六月の初めに校内バレーボール大会。男女共、学年関係なしで行われる。一番最初のクラスマッチであるせいか、各クラス闘志満々。朝の早くから放課後まで、体育の授業さえもバレーボール一色に染まる。もちろんチームワークの良さが最後には物を言うようである。

二学期、秋もそろそろ終わるころ、男子はバスケットボール、女子はハンドボール大会が行われる。この大会だけが学年別で、毎回賞状には縁遠い一年生は、すごい張り切りようである。また、ハンドボールも、「女子ラグビー」と言われるがごとく、たくましい(?)熱戦が繰り広げられる。

三学期、春もまだほど遠いころ、男子サッカー、女子バスケットボール大会が行われる。最後のクラスマッチのせいか、各クラスの意気込みはすごい。北風さえ今にも吹きとばさんばかりである。



クラスマッチ。試合そのものも大切であるが、いかにみんな協力して練習し、打ち合わせするかということも、意義の一つであり、それが、クラスの団結、クラス意識を高めていくのではないだろうか。

文化祭

若葉の緑をまぶしく感じ始めるころ、大手前のビッグイベント、文化祭がやってくる。

第一日第一部。各クラス・各クラブともそれぞれ趣向をこらした催しが行われる。理科棟での映画、音楽室でのコンサート、講堂での「素人名人会」、その他喫茶・バザー、お化け屋敷や展示などさまざま。一般公開のせいか、華やかなムードの一日である。第二部では、このスプリングと同時に誕生したという「うたごえ」によるコーラスやフォークダンスなどで、初夏の夕暮れを満喫する。

第二日目は、会場を青少年会館に移して行われる。文化系クラブの発表やコーラス大会の決勝があり、これぞ文化祭!といった感じの一日。文化祭の準備に忙しい中、必死(?)で予選を勝ち抜いたクラスのコーラスは、何とも聞きごたえのあるものだし、クラブの方も準備期間が短いというハンディをのりこえ、私たちを十分楽しませてくれる。

今年の文化祭は、例年になく盛りあがったが、先輩方によると、その分だけ文化的水準が低下しているとのこと。文化祭を楽しく過ごすこともよいが、このあたりで文化祭をもう一度原点から見つめ直し、私達生徒も文化祭に対する姿勢を考え直す必要があるのでは

ないだろうか。

体育大会

一年生で、初めての体育大会の当日、上級生のいでたちに、口をむかえばかりに驚きました。規定の体操服の上に Tee-shirt だのアップリケだの、スパンコールだの、まあ、ありとあらゆる色彩と奇抜なデザインで、め一杯個性（個性？）の主張を計っています。ハチマキとゼッケンのみのシンプルなのが身の辛かったこと。ともかく、体育大会のもう一つの楽しみと言える応援には、各クラス熱を入れます。応援服はその一つ。他にはポンポン、のぼりなど、本番の二、三日、早い所では一週間前から準備にかかります。競技には戻込みしていても、応援ならまかすとけ、という人も意外に多いと思います。自分達の区域内で、各クラスが踊り、叫び、結果に一喜一憂している様はまさに壮観。（午後にはさすがに応援熱もさめて、少々バチ気味ですが）競技は、やはり徒競走が主体。この日ばかりは日頃おとなしやかな（？）女子も、闘志むき出しで頑張ります。男子にいたっては、火花が散るような、白熱した勝負を見せてくれます。そんな中で、リクリエーション競技や、クラブ対抗リレーなどは、毎年様々な種類で、趣向も凝らした楽しい物になっています。昨年の優勝は競技・応援の部共に二年生のクラスでしたが、見ていていぶし銀の強さの三年生、石さが動力源の一年生と三学年がそれぞれに頑張ったよい大会だったと思います。今年は、より一層面白く、楽しく華やかに、そして白熱した、盛り上りのあるよい大会にするため、せいせい今から腕（脚？）をみがいておきましょう。

マラソン大会

昨年のマラソン大会は大変でした。当日は朝から雨、ところが期待を裏切る決行の知らせ（ガーン）、氷雨の中で、友人のウインドブレーカーをうらやみつつ、運動場で、全生徒が準備運動をし、その後大阪城へ。女子から先に、三学年が一齐にスタートします。もう、顔は汗と雨でびちゃびちゃ、（メガネは曇って前が見えなくなるし）体操服もじっとり、いつもの道のりの長かったこと……。それでも自分の心の中の目標——順位なりタイムなりに向けてみんな生懸命頑張ります。

マラソン大会に備えて、三学期からは、体育の時間はひたすらに走ります。女子は外濠一周。男子は二周。嫌いなものにとっては、本当に苦痛で、さすがは大手前苦行の一つと言われるだけではありません。とはいえ、冬の冷たい空気を切りつつ、大阪城の景観を横目に走るのには、気持ちのよいものですし、まして走り終えた後の壮快感というのは、一度走った人には充分経験済みでしょう。

当日、女子は走り終わると、道の両側にズラッと並んで、後から出発した男子が戻ってくるのを見物します。去年は雨に震えながらも、順位登録をした後、一着の男子を待っていました。そのうちに続々と帰ってくる男子に、「ファイト！頑張って！」の声援が飛びかいます。女子には、これが楽しみ、という人も居るかもしれませんが、苦しい顔をのぞかれる男子にとっては、ちょっと気の毒みたいです。

まあ、この行事だけは、その準備期間も含めて、説明より何より一度参加してみるのが一番のようです。

S55年度 行事 (予定) 紹介

一・一 めまぐるしい一学期一・一

。三月

〔入学試験〕合格おめでとう。あの感激を
忘れないようにね。

。四月

〔入学式〕上級生と初対面。一、二年後には
こうなっているのです。

〔クラブ紹介〕クラブ決定の手引きです。

〔自治会役員選挙〕立候補者少数が、毎回
悩みの種

〔校外教授〕各クラスで行先を決めます。

クラス内の団結が生まれてきますよ。

。五月

〔創立記念日〕五月一日。4月29日、5月
1、3、4、5日と大ゴールデンウイークが
形成されるのです。お楽しみに。

〔中間試験〕要領の纏めないうちは、ひた
すら“努力”の二文字です。

。六月

〔バレーボール大会〕九人制、六人制の二
通り。毎年、朝の運動場確保合戦が繰り
広げられます。

〔文化祭〕前日、あるいは当日の朝にまで

作業が及びます。計画は早いめに。

。七月

〔期末考査〕12教科、6日間はかなりしんどい。
3日目あたりからだれてくるので
事前の準備が不可欠 (一夜漬では立ち
打ちがむずかしいよ)

〔一年水泳訓練〕魔の数日間。まあ耐え
て下さい。大手前二大苦行の一つ。

。九月

一・一 充実の二学期 一・一

〔水泳大会〕あの狭いプールを取り巻くよ
うに見物人が集まります。(その為の特
別観覧席あり) スタート台近くではしぶ
きのおまけつき。

〔アチーブメントテスト〕宿題復習テスト
というか、実力テストというか、夏休み
中の成果がもるに出ます。

〔体育大会〕この日はやはり、三学年二つ
巴の戦い。遠慮なくどうぞ。

。十月

〔二年修学旅行〕昨年は九州でした。旅行
前には中間テストだというのに、寄ると
さわるとその話ばかり、いざ行って見ると
続々と出来る「カップル」に聞いた口

が寒がらないしまつ。また、帰って来
た時の引率の先生方のやつれようたら…
。どうもご苦労さまでした。

。十一月

〔校内球技大会〕男子バスケット、女子ハ
ンドボール。勝ち抜き戦です。

。十二月

〔ストープ使用〕扱いには注意してね。上
には何も載せないように。(弁当?グメ)
〔期末考査〕期間中、くれぐれもカゼをひ
かないように。

〔スケート教室〕テスト休み中の二、三日、
桜の宮スケートリンクで。希望者のみで
す。(朝が早いのがつらい)

一・一 あっというまの三学期一・一

。一月

〔予餞会〕三年生を励まし送る会です。

。二月

〔マラソン大会〕今までの苦労がこの日報
われるのです。

〔卒業式〕蛍の光、窓の雪、希望者は
少数ですが参加できます。笑顔で先輩を
送ってあげましょう。

クラス紹介

担任の先生へのアンケート内容

①御名前 ②担当科目 ③生年月日 ④出身地 ⑤出身校

⑥趣味 ⑦教育方針 ⑧生活信条 ⑨自己PR

⑩先生から現代大手中生へのメッセージ

(尚、先生方が回答されなかった質問は省略してあります。アンケート回答の特に少ない先生方に関しては、⑪として、「生徒から見た先生」という項目を作りました。)

一年一組

一年一組と言うクラスは、なんともいえないクラスです。これは、いろいろな意味にとれると思いますが、何のとりえもないというよ
うな意味であります。文化祭・体育祭・球技大会など、行事は数々
ありました。が、どの行事をとっても、「日、近し」となってから
行動を始め、なんとかまとめるというふうで、そのため、入賞など
はまったくありません。教室内ではどうかと言いますと、
掃除のことで隣のクラスの担任、稲川先生にどくどくと怒られ、(少
少々日の敵にされている風にも)しゃべり過ぎだと怒られ。でも、

我々にとっては居心地がいいクラスです。数々の先生に怒られては、
みんなで傷をなめ合い、(良い事か悪い事か)がやがやと過ぎてい
るのであります。我が担任である森先生にも、少々見離されてい
るような気もしないではなく、他の先生からもいつも説教を受けて
いるクラスですが、それなりに自慢できるクラスです。



①森 延哉先生 ②国語科

③昭和12年2月22日 ④大阪府

⑥読書・映画・演劇 ⑧自己に厳しく

⑩もっと精神的にたくましくなっ
ていくのが気になる。

一年二組

とにかく変わったクラスなんですよ。一ノ二というクラスは、
やたらにしらけたかと思うと、また、おなかをかかえて笑うほどお
もしろかったり……。女子は、ごく普通の女の子ばかりなんだけ
ど(我輩は女子なので、女子びいきの気があったりなんかして?)
とにかく、男子がおもしろいのでありまして、種々雑多の個性が入
り乱れていること入り乱れていること。我クラスは名物男の集団だ
ったりして。そして、その名物ぶりにも大きく二通りありまして、
一派は、S & S氏コンビを筆頭に、やかまし いちびり集団。もう
一派は、I氏、K氏に代表される、おとぼけ?人間(何を考えてい
るのかわからないので)集団。どちらも授業中、自分のもっている

個性をふるに發揮して、授業を妨害したり、進行を促進したりして大いに活躍してくれているのであります。

わっ、もう原稿がないなんてノもっと書くことが沢山あるのにノ



① 稲川正義先生 ② 数学科

④ 京都府 ⑥ 音楽を聞く事

⑦ 自己の幸福を求め、同時に社会に役立つ人間を作る ⑧ 教育方針に同じ

⑩ 生涯に一度は本当に勉強したという思い出を持てる様に努力してほしい。

一年三組

昼休み、十人くらいしか人間がない我が教室。(食堂もしくは運動場に散っているものと思われる。) 少人数であるにもかかわらず、大変な音の存在を感じます。学級全員の仲はよく、温厚な者の集まりと言った感じですが、そろいもそろって意志の強い者ばかり。それだけに行事をするのも成功させようとやっきになる。(しかしその結果は無惨なもの) けれど、一つの失敗をいつまでも気にしていてもしかたがないのでさりと忘れるたくましい精神。それもそのはず、教室はプールの横、夏の間、メガホンによる先生方の美声を音楽がわりに授業をうけたのですから、廊下分だけ広い教室にびったりのおおらかさをそなえ、ちょっぴり心配症でおせっかいな仲間達。ときどき起る論争はクラスに活気を与えてくれます。窓からは砂を多分に含んだ風が涼しく吹き、ポプラの葉の揺れる音は、何

かあったとき、私たちの高ぶった気持ちをなだめてくれます。



① 石川承紀先生 ② 国語科

③ 愛媛県 ⑥ 観劇・卓球・野球

⑦ 大きく大きくなあれ。

⑨ いつでも新しい何かにいどんでいる。

⑩ 素直でよく言うことを聞くけれど、ちょっと甘えていて迫力に欠ける。

自分で判断し、自分で決定し、その責任を自分で取る。」ことができるような自立した精神を養ってほしい。

一年四組

とても一口ではいい表せないこの4組を、ここではあえて一口で言ってみよう。このクラス最大の特徴は、まとまりの良さである。普段はクラスの各々が、ユニークすぎるほどの個性をむき出している。しかし、何か一つの目標を持ったときには、9?の時間の睡魔がたじろぐほどの活気と団結力を発揮するのである。例をあげると、眠い朝練にもめげず勝ち得たコーラス大会予選4位、決勝殊勲賞、水泳大会3位、体育大会学年2位、そして、人々の胸に感動を呼び起こした青春を賭けたもぐらたたきなどは、その最たるものである。その他、4組は底抜けに明るく、勉学にも優れている(?)といった素晴らしいクラスなのである。そして忘れてはならないのが、4組のエネルギーの源となった「ハンカチ落とし」である。皆が円を描いて座り込み、年を忘れて走り回った、あの一ときがなつかし

い。それと同時に、やがて別れゆく4組の明日を願う次第である。



- ① 渡辺光一先生
- ② 社会科―地理
- ③ 昭和19年2月9日
- ④ 大阪府
- ⑦ かつて「真実をして自ら話しむる」
だった。⑩掃除など生活の基本ルール
を守れない人が多い。情けないこと
です。努力することと地味な事の評価さ
れにくい時代の様です。これも困ったことです。

れにくい時代の様です。これも困ったことです。

一年五組

夏の蚊の大群(ノ)と、年中膨大な砂塵(事天清掃のときは、視界が一mは減る)のもとで、毎日健気な努力を続けている。ノ五の横顔。

一学期以来の戦果をひもとけば― バレーボール大会女子9人制第三位。文化祭「フイリングカップブル4対4」大当たり。水泳大会学年二位。体育大会総合学年一位(全体六位)。バスケットボール男子B学年二位。― などなど。いつもいいところまでいきながら、結局無念の涙にくれるのは、ギリギリにならないと活動を始めない、そういう体質(?)のせいであろう。しかしそれでいて、これほどやれたのだから、わが五組の底力は恐ろしいものである。

そして現在。授業態度は教科によって、熱心・不熱心・無関心の三極化し、それでも化学をはじめ成績も悪くはない。ほめて書けば個性的で明るく、けなせばバラバラで騒々しい! そんな五組に栄光あれ!。そして我らがよきチャート、井手先生に向かって、敬礼!



- ① 井手 昂先生
- ② 数学科
- ③ 1月17日
- ④ 愛媛県
- ⑥ ヨット
- ⑨ ヨーロッパの運河を出発点として、ヨットによる世界一周。
- ⑩ 問題が解けないとすぐあきらめる人が多くなつた。「なにくそっ」がなく

て学問が成就しますか。ひそかに自分の夢を育み、地味な努力を積んでいく人、たくさん出でよ。

一年六組

我が一年六組は人妻問題の多いクラスだと思ふ。まず第一に教室の立地条件が悪い。食堂に近いため否応なしに空腹感にそえられる。そのためか昼休みまでに食堂に行く人が多い。それで次の授業に遅れるという羽目に陥ってしまうこともある。(これは男子の一部であるが。)第二に授業中の私語が多いと思ふ。クラスの雰囲気は明るいことは良いことだが、それも度が過ぎると問題だ。先生が、「前の時間の最後に当たった人の次ノ一」と言われると皆大騒ぎして自分が当たらないように自分から遠い人の名を言ってその場を逃れようとする。涙ぐましい努力。(だが、これは大手前生らしくない行為だ。)第三に最近我がクラスは成績が不調のようだ。でも、まあこれはすぐ取りもどさだろう。(楽観的?) 悪いことばかり書いたが、これからは皆持ち前の明るさでうまくやっていくだろうと確信している。



一年七組

- ① 河崎武夫先生
- ② 保健体育科
- ③ 昭和17年5月16日
- ④ 大阪府
- ⑤ 東京教育大学
- ⑦ 個人が自主自律の精神をもってくれること。
- ⑧ 平々凡々と生活すること

我クラスの全貌、それを知る者は誰もいない。それはさながら宇宙に潜むブラックホールの如く大手前高校に存在する。

さて、そんな奇妙なクラスだが、校内行事には無論参加している。結果はほとんど無惨であるが、「二つだけ」キラ」と輝くものがある。何を隠そう、その一つとはつい先頃行われた球技大会。女子ハンドボールはあっさりと敗退の道を歩んだのだが、男子バスケットAは並み居る強敵どもをなぎ倒し、激戦を展開し、挙句のはてに学年優勝という偉業を成し遂げてしまった。(運動も成績もあまり恵まれていないクラス故この勝利は貴重なものである)そしてもう一つ(話が後先になるのだが)、文化祭での出し物おぼけ屋敷、その名も「ミステリーハウス」。蓋を明けたとたん、入場を待っての長蛇の列、期待以上の大盛況であった。(もう少し書きたいが紙面がもうない。)燃えろいい女、燃えろ七組、我らの前途に希望あれ、

- ① 岸田尚子先生
- ② 英語科
- ③ 7月15日
- ④ 大阪府
- ⑤ 大阪大学



一年八組

- ⑥ 物を習うこと
- ⑦ 楽しく厳しく
- ⑩ 物事のけじめをつける。自主的に行動する。知的好奇心を燃やす。これらのことが欠けているようです。でも全体としてみれば、さわやかな高校生です。

筆者が持ち前の独断と偏見をもってここに記すなら我が一年八組

は実に支離滅裂、言語道断、奇々怪々なり。何かをやる決めてもごちゃごちゃ言うばかりでなかなかやらない。優柔不断なのである。

なお悪い事に極度のお調子のり患者が存在し、のりだすときりがない。かなりのやじ馬がいるらしく、数人が何かやり出すと皆がワッと集まるので、一見まとまっているように見えてその実、全くまとまりがない。さらに特筆すべきことはテスト用紙の乱れかう中その平均点が時として異常に低いことである。しかし大手前の大型不燃ゴミ捨て場と罵られた八組も後僅かで解体。そして私達は八組ガンの病巣が学校中に飛び散りじわりと大手前が癌に冒されてゆくのを左の頬に不気味な含み笑いを浮かべつつ眺めていることであろう。これをチャート式大手前征服法という。チャートが何だアチーブどうしたガガンバレ八組、世界は我等の手中にある。





◇

◇

①松田有弘先生

②英語科

③昭和11年12月21日

④大阪府

⑤京都大学

⑥レコード音楽鑑賞、オーディオ

⑦英語に限らず言葉に関心を呼び起こすこと。

⑧アマチュアとして楽しめる趣味を持つこと。

⑨目下、

日本語の語源研究に熱中。

⑩八常に自分に厳しくあれ、勉強（授業家庭両方）はこれでよいのか？一般教養（読書による）はこれでよいのか？生活態度（食事・睡眠など）は？友人先生への態度はどうか。

一年九組

昭和五十四年、桜の花びらひらひらと舞い落ちるころ、バッファローズ狂師化学担当の佐野先生のもと四十七名の個性豊かな人材が集った。この集団は熟しやすくさめにくく、走り出したらとまらなという手におえないクラスである。（時に先生方のヒステリーのもととなる）また、その結合力は強大かつ柔軟性を備えており、大会（体育大会・クラスマッチetc）の頃となると、日頃のまとまりのなさとは違ってかわって、それは其有結合をものぎ、試験前になると化学反応をおこし、仲々優秀な成績を修めるのである。すなわち少々explosiveである。あの春の日からもうすでに七ヶ月、中学四年生といわれつづけ、それでもなおかつ現状を維持しつづけるわがクラス。五十五年四月を無事にむかえられますよう。

THE END

（筆者の独断と偏見、ひらにご容赦を）

◇

◇

①佐野富士弥先生

②理科！化学

③昭和12年10月31日

④福島県

⑤東北大学

⑦地味で堅実な人造り

⑧その時、その時を楽しみながら、一方常に生死を思いおびえながら。

⑩後かたづけ、当番の清掃などイヤなこと、行儀を努力して良くしてほしい。恵まれた環境にあることを感じ、早く日覚め、優れた資質をいかし、充実した毎日にしてほしい。より品の良さ・人格を高め、心豊かであるよう努めてほしい。品格や心豊かさは金や権力では買えません。



一年十組

我が一年十組は、前半を人気の少ない廊下に面した旧化学実験室で過ごし、後半を金蘭会館という、二重の扉とそれに加えて13段の階段によって他のクラスと隔離された一室で過ごしてきた。そのせいか他のクラスの影響を受けず、いつもマイペースで進んでいて、その上男女の仲がたいへんよく、いつも明るく楽しいクラスです。しかし、これはともすれば、「騒がしい」ということになりがちで、しばしば先生を困らせている。行事があると、いつもスタートが当日4〜5日前と準備が遅れて大あわてするが、その度にみんなハッスルして、大成功？を収める。

そんなところには、十組の偉大さを感じたりして……。
 とにかく、「騒がしい」と言われながらも、明るさでカバーして
 (ごまかして)、風を受けて順調に進むヨットのようになうまくいっ
 ているようです。最後に一言、「一ノ十よ、永遠なれ!」



- ①長田廣明先生 ②英語科
- ③昭和25年9月6日 ④大阪府
- ⑤大阪大学 ⑦知識を活かして、自己の個性・能力を発揮する。
- ⑧粘り強く、細く長く。
- ⑩視野を広げるよう努めて欲しい。そのためにもっと授業を大切にして下さい。

二年一組

我々の学級は、男子は、活発な集団と比較的穏健な集団とに大別され、主に女子もこれに準じているが、前者が男女間の結合が強いのに比べて後者のそれは弱い。ところが前者は活発であるといっても意外に穏健な人々が多くを占め、後者は穏健であるといっても案外活発で、現自治会長を初めとして自治会本部役員を多数出している地盤であることから容易に理解できよう。すなわち全体についていえば、明るさと穏やかさが雰囲気となり、微妙な調和の中に不自然さのない統一が保たれた状態にある。一見全く性格の異なる二集団の間には、深刻な対立はもろろのこと何ら争い事もないのである。文化祭や体育大会に際しては潜在的な指導者が存在して全体

の一致団結を促進しているのである。このことは教室の前面に体育大会の表彰状が二枚飾ってあることからわかる。こうして見てみると我々の学級は理想的学級の一つではないかとも思えたりする。



- ①石川 満先生 ②保健体育科
- ③昭和26年5月18日 ④福井県
- ⑤京都教育大学 ⑥電気式蓄音機による永久的美音追求、音楽鑑賞・剣道・読書。
- ⑦文武の両立、精神と肉体の統一をめざす人間になってほしい。
- ⑧最期の日がいつ来てもよいように、悔いのない人生を送ること。
- ⑨かけがえのない連れ合い、清貧が白慢である。
- ⑩廉恥の心持ちを養ってほしい。

二年二組

「眠れる猫」我がクラスを一言で言えばこうでしょうかー猫も獅子も親戚同士、いざとなれば相当頑張れるかもしれないという意味を含めてー あらゆるものへの可能性を内に蓄えながら、始終さまざまいいびきをかき、眠っているのです。しかしそのいびき、なかなかよくハモっていて、何やらほんわかとした雰囲気もあります。自然への愛着か、せめてもの保温のためか、さてもた怠慢のせいかは知りませんが、砂土を床に溜め込み、カビが好みそうな悪環境にもめげず、和気あいあいとしていられるのは、それだけで称賛?の価値があるのではないのでしょうか。

いずれ、空腹でどうにもならなくなれば、目も覚ますでしょう。

ひとたびそうなれば・・・かな？でも遅すぎるでしょうか。
 “時の流れは、すべてのことを美しい思い出に化す”と信じてつ、
 筆を置きます。



- ① 平野日出夫先生
- ② 国語科
- ③ 昭和10年10月23日
- ④ 大阪府
- ⑤ 大阪大学
- ⑥ 小説を読むことと音楽を聞くこと。
- ⑦ アホでもやればできることもあるという見本になりたい。
- ⑧ 毎日、教壇でピエロを演じている。

⑩ もう少し何か(知的な面で)に情熱を燃やすか、勉強の気違ひになるかになったらなあと思う。あまりソツのない人間になるな!

二年三組

平組に編入された旨の電話を受け取った時、受話器が手をすべり落ち、ガッチャーンという音と共に私の心を砕きました。去年の一年六組の陰鬱なクラス紹介が私の頭をよぎりました。ああ、この世は闇だ、友人の一人は、この悲報を受け取った時に泣きました。今、振り返ってみますと、当時の絶望感はいくつの杞憂であったように思えます。と言うのもこの平組、全くの猛者揃い。個性そのものの人の集団で、喉元過ぎれば熱さもなんとか、かの人のお説教も馬耳東風と言った所です。ところで、猛者と言う称号？は、普通勇氣ある男子に冠せられるものなのですが、ちがうんですね！。水泳大会準優勝、体育祭ファッション賞、ハンドボール準優勝。皆、我が

組の猛者女子連の活躍で、男子はお情け出演。いわばノミの夫婦です。でもね、クラス内の雰囲気はとても良くて、所々でカップルもチラホラと。今、学校中で一番楽しいクラスじゃないかな。



- ① 平 正人先生
- ② 英語科
- ③ 昭和2年8月26日
- ④ 大阪府
- ⑤ 東京大学
- ⑥ 野球
- ⑦ 平正人ー平相因酒盛の後裔？なり。一度その逆鱗に触るるや、青天の霹靂、怒髪天を衝き、我ら生徒は地に伏し怒りの静まるを待つのみ。子いわく、「我、校則なり。」哀れなる犠牲者数知れず。

二年四組

「定義」 $y = f(x)$ $X \cap A \cap B$ によって定まる y 全体の集合を「二年四組」、その総師を鈴木先生とする。
 「グレテル第一法則」気力充実派(優性)と無気力派(劣性)がある。クラスはこの二つの派の意見によって運営されている。まず何かの行事がある時、この二つが融合して優性遺伝があらわれる。次に何かする時も優性があらわれる。その次も優性、その次も、その次も...。いつまでもたっても優性遺伝しかおこらない。これをメンデルの法則に対して「グレテルの法則」という。尚、この法則に支配され、四組は常に笑いの渦に包まれている。よって、男子バスケット優勝、女子バレー準優勝、コーラス大会決勝進出etcなどの数々の栄光が証明される。

(問題) 前出の証明を背理法によっておこなえ。また、数学的帰納法によってもおこなえ。



① 鈴木朗夫先生 ② 英語科

③ 大正14年4月20日 ④ 愛知県

⑤ 広島文理大 ⑥ 音楽鑑賞 ⑦ 「僕は

ネット、いつもはニコニコしているけど
ネット、遅刻をしたらネット、授業中に当
てるんデスー。ダカラーネット、遅刻し

ないでヨ。それに英語は毎日やらんといかんヨ。」と言われたそうなの!

二年五組

僕が、二年五組を書いてくれと言われた時、はたして、どうい
くことを書くか大変迷ったものである。それではまず個々の人につ
いて述べると、みんな明るくて、人間的な優しさをもち、とても個
性的な人々ばかりで、それぞれの人間性が、絆のようなもので結ば
れていまして、それゆえに、クラス全体としてはとても明るく楽し
いクラスで、何事につけてもといえるかどうかはわからないけど、
極めて積極的であり、協力的であります。それらのことは文化祭の
映画の大成功?、体育祭のとき総合得点全校最低にもめげず、最優
秀応援賞をとるなどのことから、勉強以外の事に対しては非常に、
シビアーなクラスであります。まだ書かなくてはいけないことが、
たくさんあるのですが、書いてはきりがないので、このぐらい
で筆を置きたいと思えます。



① 野村公信先生 ② 数学科

③ 昭和12年7月31日 ④ 鹿児島県

⑤ 広島大学 ⑥ 囲碁・テニス ⑦ 自分

のことは自分で責任をもつ。⑧ 誠意
をもって事にあたる ⑨ 熱しやすく冷
めやすいので、計画をたてても長続き

しない。最近では目標を下げて、一年間続けたらものになるだろう
と思つて、長続きすることを心がけている。⑩ 自分の頭で考える。
我々の知識の多くは、自分の経験とはかけ離れたものとなつてしま
つたが、紙と鉛筆を手にして、辞書をひもとき、自分で確かめ、納
得のいくまで調べてみるのが大切であると思ふ。

二年六組

別館の二階の突きあたりにある、うすぎたない教室で、毎日です
ごしている、というか、すぐしてきたのが、二年六組である。
この二年六組というクラスについて、先生方は、「活気がない」
などと言われるときもある。また、どうも、今ひとつ、一本筋が通
っていないような、ポーツとした印象を与えるときもある。
が、一見ポーツとしたこのクラスも、大きな行事になると、急に
ガンバル。ほとんどの種目で決勝に進出し、堂々の優勝を果たした
体育祭をはじめ、準優勝のバスケットボール大会、苦心の上できあ
がった電光板使用のプロボーズ大作戦、伴奏なしというのが辛いし
たのか、敢闘賞をうけたコーラス大会などなど。どれをとっても、

思い出は尽きない。やるときはやはり、やるのである。
最後に、こんなクラスを一年間うけもって頂いた高岡先生に、大
いなる感謝の意を込めて、この文を終わることにする。



①高岡京子先生 ②家庭一般・食物
③昭和4年11月10日 ④東京都
⑤奈良女子大 ⑥箏曲・読書・スポー
ツ ⑦個性や生活に適合できる構想力
をもたせること。⑧健康・誠実・協調
前進 ⑨東京、神戸、奈良、大阪と移
りすみ現在の生活がもっとも長く、この地に骨をうづめる事になり
そうです。東京生まれの京子より、意志京子の方かもしれません。
⑩何でもよく吸収する能力と努力をもった人達なので、従順なもの
当り前かもしれない。しかしこと学習面では、自主的に一歩前進し
た根性のある学生であってほしい。

二年 七組

その七組が本性を現わしたのは、語るもオゾマシ選挙の日でした。
思惑と憶測が飛びかい、黒い資金も流れたとか流れなかったとか
推薦合戦が続き泥沼状態に。形勢不利とみるや、やにわに簡単な役
員に立候補するという頭腦的プレーには、サウスガ大手前く〜。
しかしそれが裏目に出て、朝礼台で「きよつけえ。」と氣のない号令
をかけるハメになった者も。コーラス大会では、自ら「七組優勝

候補」のデマを流しながら、キレイに予選落ち。BUT、バスケット
大会では、名誉ある退場者を出しながらもベスト4に女子ハンド
ボールも善戦ノ男子全員のヤジ（応援か？）もすごいモンでした。
体育の次の時間の安らかな寝息を聞いていると、活気あふれたク
ラスーとは言えなくなりますが、そこは住めば都。そのなごやか
さは、「悪いやつもおらへんしね。」というS番長の一言につきると
思います。△○◎□……。最後に、高山先生に敬礼



①高山邦章先生 ②理科ー物理・化学
③昭和23年1月3日 ④兵庫県
⑤音楽鑑賞 ⑥我が担任の高山先生は
物理担当でまだお若く、実験の際、器
具の故障で四苦八苦なさる様は、とて
もユーモラスでつい笑ってしまいます。

二年 八組

さて、E-8についてですが、何といってもこのクラスの特徴は
芸人が多いことです。先生のものまね（聞かせてあげたいク）・似
顔絵（見せてあげたいク）など、休憩時間や授業中さえも笑いが絶
えず全く楽しいクラスであります。しかし、わがクラスはわりとは
つきりグループに分かれているんです。ところがここにまた8組の
名物がありまして、それぞれのグループにはKカンパニー・Nファ
ミリー・Hファミリー・M組五人衆（わざとイニシャルで表わしまし
た）などという名前がついております。でもそれらはけっして仲は

悪くありません。クラス全体は「おもしろい雰囲気」で満ち満ちて
ます。それから諸々の大会の成績ですが、これはもうひとつ良
くありませんでしたが、勉強の方はわりと良いという話です（あくま
でもウワサ）。この8組もあとわずかですが、これからどうなりま
すか、楽しみやら恐ろしいやら複雑なクラスであります。



- ①小野昭平先生 ②数学科
③昭和2年9月17日 ④岡山県
⑤京都大学 ⑥登山 ⑦人の気持ち
理解できる人間を育てる。⑧誠実
⑩随分人なつっこく素直な生徒が多
なってきた。しかしこれは裏を返せば

節度があり、個性も豊かな生徒が少なくなったと言う事で、何かも
のたりないものを感じる。もっと大人になってほしいなあと思う。

二年九組

- ★成分：無敵の女子21名。多敵の男子26名と担任1名
★効能：1. 大手前における9組の存在：バレーボール大会女子6人制
優勝。コーラス大会決勝進出。文化祭、映画「青春茶飲み話
」を上映。水泳大会学年2位。体育大会学年4位。そして、
ハンドボール大会校内優勝。

★用法・用量：通常一日に数回笑いの渦。
★使用上の注意：(1)一般人の手のとどかない所に保管すること。
(2)我クラスとの第3種接近遭遇により、発熱等の症状があら

われた場合は、接触を中止し、ただちに避難すること。
何かにつけて活発な女子、それを見守る男子。この2つの成分が
解けあっているのが9組である。他のクラスから見れば、まさしく
エイリアンであろう。しかし、我々47名が、明日の栄光のために今
日の屈辱に耐え、生き抜くであろうことは、……と自明やね。



- ①平瀬卓男先生 ②数学科
③昭和21年1月8日 ④大阪府
⑤大阪市大 ⑥読書 ⑩明るく楽しく
高校生活を送っているのは良いが、勉
学に対する意欲が少し低いように思わ
れる。この点を改善したら言うことは

ない。

二年十組

地ひびき。罵声。横なぐりの衝撃。傾く教壇。悲鳴。先生の怒る
声。試験の重みにねじ曲がる性格。悲鳴。散乱した人格。怒鳴る声。
悲鳴。悲鳴。叫ぶ声。「二年十組やッ」伝統ある大手前にいんな
波紋を投げかけてきた我がクラスも約四ヶ月後には解散する事は必
至である。その前にクラスの全貌（実際は一部）を語っておこう。

我がクラスの特徴といえは各人が本当にのびのびと行動している。
と言えは良く聞こえるが裏を返せば、全々まとまりがなくそれぞれ
がブラウン運動しているのである。そんな人間の集団である故、授
業中はすさまじいもので、各人にとって毎日が五〇分六本勝負のデス

・マッチであると言っても過言ではない。他面では校内の大会という大会では常に優秀な成績で「二年十組リーグ」での連続優勝は、我がクラスの唯一の栄冠であり人々の胸に感動を与えた。数々の想いを抱えて我々は今、果てしない旅にしようとしているのである。

◇ ◇ ◇



① 岡田忠良先生 ② 理科Ⅰ化学

③ 昭和2年3月13日 ④ 三重県

⑤ 大阪大学 ⑥ 雑多 ⑦ 自由放任

⑧ おかさず、おかされず ⑨ クラブも課外も物好きでやっています。せいぜい御利用のほどを ⑩ 多様化されて色

々なタイプの人がいるようですが、もうちょっと勉強に時間をさいてほしいと思います。

二年 十一組

例えば人は、一組と聞けば「アー一組か。」と、十一組と聞けば「アー十一組か。」と感ずると思う。でも我等「金魚バチ」の住人はそんな世俗の迷い事には目もくれず、三方の窓から入る日光をたっぷり浴びてスクスク育っている。担任の人柄を素直に映す我十一組は穏やか、温厚、屈のようなクラス。しかしそんな第一印象とは裏腹に、その海底では常にジリジリと熱い炎が燃えているのも事実。

運動会の応援の為ヒゲを剃らず「ハク」をつけてくる者、球技大会で、相手をやじり負かそうとする集団 etc.。大手前社会のおびただしい人ゴミの中では目立たないが、一人一人は、しっかり燃

え尽きているのも事実。反面、数々の行事を糧に、47人の心が一つになりかけた頃、最後に残された「クラス変え」という行事に、うっすらと淋しさを覚え出す面々がいるのも隠し切れない事実。この愛すべき個性派達に幸あれ。(何かウソみたい……)

◇ ◇ ◇



① 阪本千秋先生 ② 国語科

③ その温厚さをモロに表わすちっこい

目と額で構成される笑顔には、ここだけの話、生徒の良心覚醒作用あり

人ぞ知るこの千秋スマイルは、心の

平静を呼び戻す特效薬、一日二回、食

前食後に……

三年 一組

三年も今ごろになると、目は血走り放課後を告げるチャイムが鳴ると脳目もふらず単語カード片手に電車で飛び乗り「次の駅まで二つ覚えるぞ。」といった帰宅風景は過去のものとなってしまっている。現在の我クラスを見てみると、そのような気配は微塵も感じられない。たとえば、休み時間はその名の通り「お休みの時間」であり、室内球技、格闘技が盛んでこれも「理科系」ならぬ「運動系」クラスと言われるゆえんである。授業中は静かに教科書をひらき、何かしらモソモソやっており、先生方もほとほと手を焼いておられる様子である。さて各人に聞いてみると「まだまだ高校生活をエンジョイするぞ。」「そんな余裕のないことでどないする。」といった調

子で極めてマイペースで勉強街道を進んでいるようである。最後に我輩はこのような受験生が以後大手前に集団発生しないことをただただ神に祈るだけである。(11月×日三年一組〇△の日記より)



① 広瀬 勝先生 ② 国語科

③ 昭和11年8月1日 ④ 大阪府

⑤ 大阪大学 ⑥ 園芸 ⑦ 楽しい授業

⑧ 時間の厳守 ⑨ 自己の責任を全うせよ

⑩ ふだんあまり小言を言わず、H

Rのソフトボールでは自らバットを振り奮闘する。ナイター中継を見ては胃を痛くする。(去年は負け越し)竹をわったような、親しみやすく話しやすいーそんな先生。

わしは犬でな、名前は「ココ」というねん。今3-2の教室に来てるんや。3-2いう組はな、体育祭の時にウルトラマン作ってめだとうとしとった組や。ほかの理系の組はもう帰ってんのにこの組だけ残って必死に作りよってん。せやから競技の部はともかく応援の部は絶対優勝やと皆思とったんやがな、審査員と意見が合わなんだらしゃあないな。熱心なんは体育祭だけとちゃうで。バスケットボール大会の時かてそうや。朝早うから寒いのに我慢して練習したんや。練習の甲斐あって結構ええとこまでいきよったわ。優勝でけたらもつとよかったんやがな。わしも残念やったと思っとるんや。まあ、遊びやったら何でもがんばる組やったな、3-2は。あっ、永井先生が

三年二組

米はった。次はリーダーやな。「えーと今日はどこからあてましようかね……」また悩んだはるな。「……えーと……ここ」しもた、「ココ」がねらわれる、



① 永井津記夫先生 ② 英語科

③ 昭和22年3月21日 ④ 大阪府

⑤ 大阪外人 ⑥ 語源研究・パチンコ

⑦ 主体性のある生徒の育成 ⑧ 不安の中

中で主体的であること ⑨ あらゆることに関心をもち、自分の意見を常に確

立したいと思っている ⑩ 勉強等においても、他から言われてする

のではなく、自分で問題点を探し出し、自主的に取り組む姿勢を持

った生徒になって欲しい。

三組と言えば上総先生、上総先生と言えば三組。私たちは、あの有名な先生と、同じ屋根の下に住んでいるのです。その割には物理の点が……。皆さん、もっとしっかりと勉強しましょう！

三年三組

さて、そんなことはどうでもよくないが、私たちの組は、その卓越した運動神経の集合体で他の組に恐れられています。バレーボール大会：六人制優勝、九人制準優勝。水泳大会：余裕で一位。バスケットボール大会：当然優勝。加えて、コーラス大会では、九組の皆さんと共に、あの第九を合唱。三位入賞。夜遅くまで頑張ってくれた、陰の名編曲家たちに……ごくろうさまでした。

三組と言えば上総先生、上総先生と言えば三組。私たちは、あの有名な先生と、同じ屋根の下に住んでいるのです。その割には物理の点が……。皆さん、もっとしっかりと勉強しましょう！

三組一少々ふざけた面もありますが、みんないい人ばかり。多くは、この組を「しらせさまい」と支えてくれている。三年という学年でなければ「多くは」は「皆」でありましように……

皆、思いやりのある人間に……これからは楽しみな三組同志です。



①上総良雄先生 ②理科・物理

③昭和3年6月11日 ④奈良県

⑤読書・園芸・クラシック音楽鑑賞

⑦誠実・明朗・責任感 ⑩全体として

勉強が不足している。意欲的に物事に
とりくんで欲しい。

三年四組

落葉が砂煙と共に舞っている。ポカポカ陽の射すサッシ窓を介して中庭を眺めると、無音の世界で、木々が北風に震えているようだ……と言うとる場合とちゃうわ。クッ、クラス紹介せなあかんねや。

◆廊下通ったら香り、でわかるやろうけど、男35、女12人の理系クラスですわ。男子の優秀さも何やけど、雑草の中の一輪の花を思わせる、女子の切れる様な頭は凄いでっせ。トイレ行く時でも、微分可能性がどうの言うともん。ちゅうわけで、授業中寝とる者は皆無先生と観覧席の間には、シメトリカルな緊張感がありますのや。

(実情はクラスの者が知るのみ。)彼らを統括すんのは、竹輪を積分しながら食べはる、数学者兼料理理研究家(?)、中村良一先生。最近では父親的優しさを振りまいてはるようや……◆お城が桜吹雪に

包まれる頃、柔らかな風に乗って、西城君の「Y.M.C.A」が聞こえて来ることのないようにと祈りつつ、筆を置くことにする。

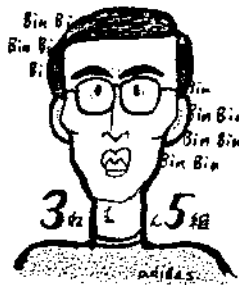


①中村良一先生 ②数学科

③テントかついで本州中を殺にかけ、
④十萬円のアコーディオン両手に合奏
⑤団を作り、珍味の製作に密かな楽しみ
⑥を味わいながら、数学の難問を作り出
す、そんな幅広い行動の持ち主です。

三年五組

Kは京大をめざす三年生である。卒業と大学入試を目前にレマKの頭に浮かぶのは楽しい毎日と仲の良い友人の顔である。春のクラス変えの時、Kはどんなクラスで勉強するのだろうかとはのかな期待をよせて学校に来た。が、Kは自分の名前を五組に見つけた時思わず叫んだ。「大学あれへんがな」確かにそうだった、五組はあまりにもスゴイメンバーだったのだ。Kは不安と絶望におののいて授業初日を迎えた。しかしKは面くらった。さすがに大手前の三年生、やはり授業に対する態度には厳しいものがあつた。そしてバケの皮がはがれたのは「学期になってからであつた。その頃クラスが一年生のようににはしゃぎ出した。Kは悩んだ、「こんなことでもいいのか。俺には京大が……」思い悩んでいたKは一番はしゃいでいた。毎日がKにとってとても楽しかった。今、Kはしんと静まりかえりひっそりかえった教室で一人つぶやく「五組になってよかった……」



得ず、しかし、まだまだ生徒諸君には負けないと、自負している。
 ⑩いつも気持ちにゆとりを持って事に当たるべし。自らの人生観について、ある程度は考えて見るのもいいだろう。あまりにも情性的に過ごしている様に感ずるが、目的意識を持って、精一杯やって欲しい。

三年六組

卯月に我、クラス発表を見しをり、荒涼たる砂漠を感じ得たり。開拓される可能性に満ちあふれども、あまりに個性強き人のみ集まりたるに困難の二字頭にのぼれるがゆゑなり。されどこの予想みごとにはずれたり、卯月・神無月における校外教授にては肥料を与えられ、文化祭その他諸々の行事にては蜜のごとき雨を恵まれればやがて緑葉雄々しく茂りぬるなり。素晴らしきことかな。我、このクラスに對面して思ふ。はじめより良きクラスなどなかりき。人々寄り添ひあひ労はりあひてつくりゆくものなればなり。種々の個性あればこそ、かように楽しきクラスになりき。男共、いづれ劣らぬ漢なり。女共、いづれ劣らぬ才女なり。このクラスに入りしことう

- ① 田中 敏先生
- ② 保健体育科
- ③ 昭和25年11月26日
- ④ 大阪府
- ⑤ 大阪教育大学
- ⑥ スポーツ全般
- ⑦ 自己に厳しくあれ！気合入り！
- ⑧ 心にスマイルを！
- ⑨ 中学時代より陸上競技に接するも、未だその悟りを

れし。我、最後にあたりて願ふ、悪友たちよ、いつしか芳香馥郁たる大輪の花おおいに咲かせたまへ。(付、女子バレー優勝、準優勝ハンド優勝、水泳大会三位。体育大会三位。6組万歳)



しかできぬことがある。適切な時に適切な事をやるように心掛けたい。

三年七組

八時三〇分、大手前の鐘の聲、まさに無常の響きあり。「ああ、今日も遅刻多いなあ。もう五分早よ来たらいんや。」ため息ついておっしゃる近松先生の言葉もこのクラスでは通用しない。しかし、朝に弱い遅刻常習犯たちも、陽が高くなるにつれてだんだん活気を帯びてくる。休み時間だけでは飽き足らず、授業中も受験生とは思われぬほどの活躍ぶり。○先生曰く、「この組はほんまに担任の性格を反映してるね。」けれども、このような力あり余るメンバーの集いにもかわらず、運動系の行事で花を咲かせたことはなく、反面、文系クラスの面目もあってか、コーラス大会では堂々優勝、文化祭でも喫茶「長屋王」は早々に店じまいという盛況ぶりだった。我が

- ① 黒田昌司先生
- ② 英語科
- ③ 昭和4年7月30日
- ④ 兵庫県
- ⑤ 京都大学
- ⑥ クラシック音楽鑑賞、卓球
- ⑦ 大手前の伝統に従ってやる
- ⑧ 元気で仲よく
- ⑨ Punctual
- ⑩ いつでもできることがあり、また今

七組の諸君、滅多に掃除もせず、眠りを誘う暑い日ざしを遮るカーテンさえないこの教室での、汗と涙と充分なホコリにまみれた一年間、きつと、無駄にはしないよな、



- ◇ ① 近松淳一先生 ② 社会科―日本史
- ◇ ③ 俳句・読書・散策・囲碁・麻雀・野球・映画 ④ たとえ浅くとも湧き出る井戸水のような、自己だけでなく他人にも幸いを与える人間になってもらいたい ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑩ 覇気がだんだんなくなって来ている。節がない。遊ぶ・学ぶのけじめがだんだん薄らいできている。

三年 八組

我がクラスは勉強方面にはもう一つ興味を示さないが、スポーツに関してはたいへん熱心だ。と言っても、もう一つバツとした成績はなかった。まずバレーボール大会では、最強の男子6人制のチームがなんと一回戦敗退、ところが男子9人制が奮起して五連勝ほし、なんと決勝戦まで勝ち進んだ。決勝戦の時は、メンバーみんな緊張で顔が青かった。結局、善戦しながら惜しくも破れた。次に水泳大会は、女子の出場がとて少なかったので「せっかく女の子の水着姿が見られると期待してたのに。」とこぼす人もいた。我がクラスの男子の話の内容は、ほとんどがこんな事である。また体育祭では4人の英雄が飛び出した。800mリレーでの彼らのスピー

下は凄かった。これも女子の応援のおかげだ。男子バスケットボールと女子ハンドボール大会も、成績はあまりよくないが、その練習量は一等賞だ。一つの事に熱中できるたいへんよいクラスである。



- ◇ ① 杉野としる先生 ② 国語科
- ◇ ③ 大阪府 ④ 芝居・音楽（にぎやかでないの）・古い日本見て歩き・風景との対話 ⑤ 柳は緑・花は紅 ⑥ 争いごとをしないこと（きつとしたら負けるからよ） ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ス一杯にたっぷりと書いてほしい。それもH・Bくらいの鉛筆で筆圧強く。その時、あなたはデッカイ人間になったような、または、なれそうな気持ちになることでしょう。

三年 九組

9組は、勿論のこと文系クラスである。故に、男子が女子より8人も少ない。しかし、8人の差を感じない。何故か？それは、男子のほとんどが、体が大きく、それに比べ、女子は、筆者を含め、かわいらしい人が多いからだと思う。このクラス、授業中は、非常に静かである。たまに、筆者の周囲のアホ笑いが響く程度。かといつて、睡眠中という方が多いのかと思うと、違うらしい。テストになると、クラスの平均点がすこぶるよいのだから。（アホな筆者といたしましては、頭の痛いところ）しかし、行事には、無関心でなく非常に熱心である。その熱心さが、あとの二次会でほぼ全員参加と

いう結果を生むのである。(庭野先生は、毎回早く帰るように注意なさるのだが...) 九組については、こんなところ、わかってもらえたかどうか疑問ではあるが、筆者にとって、このクラスは、居こちのいいクラスである。



は、人生の甘さ、からさ、にがさを経験して欲しい。

三年十組

大阪府庁の鐘の声、正午無情の響きあり、五臓六腑の呻く音、消化順調の理をあらはす。早弁族の暫しの気力、ただ春の五限の夢の如し。熱き弁当箱もつひには冷めぬ、ひとへに試験前のLHRに同じ。我がクラスをとぶらへば、掃除のカワケン、大退跡のサワケン、その他もみな旧習先人の導にも従はず、己が道をきほめ、いさめをも思ひ入れず、天下の乱れんことを悟らずして、他受験生の憂ふるところを知らざりしかど、久しからずして受かりにし者どもなり。我らが戦果をうかがふに、コーラス大会の優勝、水泳大会の第5位体育大会の第3位、はやる心もたけきことも、みなとりどりにこそありしかども、たふとくは桑原先生と申しし人のありさま、感謝し

◇ ◇

- ① 庭野孝一先生 ② 保健体育科
- ③ 18年7月5日 ④ 長野県 ⑤ 日体大
- ⑥ スポーツ全般 ⑦ 強い人間形成
- ⑧ 良く働き、良く遊び ⑨ 鬼のニワノ
- ⑩ 若達は社会へ出たら、中堅以上の指導者になると思う。その指導者たる者

承るこそ心もことばも及ばね——。

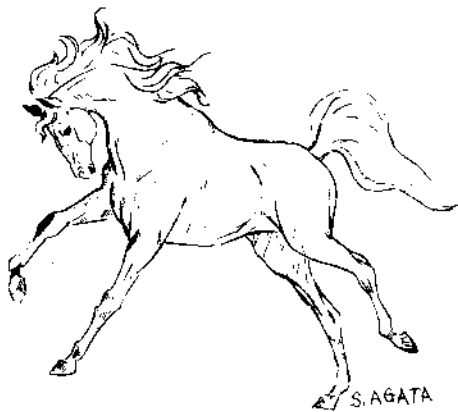
(問1) 4行目「とぶらふ」の漢字は次のどれか。 ①甲②訪
(問2) 本文から伺われる3年10組の姿を五十字前後で述べよ。



らか ⑩未来に大きい夢を持って、常に向上を追求し、努力し、エレガントなセンスとやさしさと、そしてきびしさを!

◇ ◇

- ① 桑原 啓先生 ② 理科—化学・物理
- ③ 昭和2年11月4日 ④ 山口県
- ⑤ 京都大学 ⑥ オーディオ・音楽・鉄道・旅行 ⑧ 無駄な時間を過ごさない。常に前に足を出すように ⑨ おひとよし・内気・まじめ・いつも元気でほが



先生紹介

今回は先生方に、アンケートに答えていただきましたので、ここでは担任を持っておられない方々を紹介いたします。(担任の先生については、各クラスの紹介の方を見て下さい。なお掲載上の都合により、順不同です。)

アンケート質問事項

- Q① 担当教科 Q② 生年月日 Q③ 出身地
 Q④ 出身校 Q⑤ 趣味 Q⑥ 教育方針
 Q⑦ 生活信条 Q⑧ 自己PR
 Q⑨ 先生から見た現代大手前生へのメッセージ
 * 生徒から見た先生

校長先生

- ① 世界史 ② T10年1月6日
 ③ 愛媛県 ④ 広島文理科大学
 ⑤ 幽碁五段 ⑥ 明朗で伸び伸びと育つ事 ⑦ 誠実と努力 ⑧ とにかく真面目である。雨の日も風の日も一日も怠らず、これ努めている。寡黙であるが人づきあいは、よいつもりです。
 ⑨ 明るく和やかで伸び伸びとした校風は好ましい事ですが、もうひとつファイトが不足だと思う。克己、己れの怠惰心に打ち勝つよう頑張ってください。 * じかに接する機会は、あまりないけれども朝礼でのお話から、先生の温厚な性格がうかがわれます。



教頭先生

- ① 数学 ② T15年4月12日 ③ 大阪
 ④ 阪大理学部 ⑤ 旅行 ⑥ 自分の力を100%以上発揮する事 ⑦ 三つ三実(あれは生活優先) フロイドに云わせると教育に向いているのかどうか
 ⑨ もっともっと力が出せるんじゃないのかなあ。
 * 54年4月に府立春日丘高校よりこられたばかりだが、水泳大会で、「水球」で鍛えた泳ぎを披露なさり、「お若い！」と痛感した。



大川先生

- ① 世界史 ② S8年1月30日 ③ 本籍三重県(台湾生まれ。後各地を転々とする)
 ④ 東北大学 ⑤ ハイキング・レコード鑑賞・読書 ⑥ 今のところ特になし
 ⑦ 健康第一。(健康でないから)
 ⑧ PRすべきほどの物はない...と書くのも、ひとつのPR法か。
 ⑨ 図書館の一隅から眺めていて一年ごとに図書館利用者が減少しているのを痛感する。数年前は、たとえば期末テストの終る日などは図書館が一杯になった記憶があります。生徒諸君の求める本が図書館にないのかと思ったり、よくいわれるように若者の活字離れかとも思う。若き日の読書は人生の本肥である。青年よ読書しよう。
 * 流れるような黒板の字と見事にまとめたあげたプリントは、天下品。自筆の世界地図と年表を使って実に丁寧な授業をなさいます。



梶 先生

① 地理 ② S26年2月9日 ③ 大阪
 (岸和田) ④ 立命館大学 ⑤ こせこせ
 動き廻ること ⑥ みんなから教えられる
 ような授業をしたいと思っている。⑦ み
 んなに不快感を与えないような日々を送り
 たいと思うのですが ⑧ みなさんが御存知のように人に誇れるよ
 うな事がないので困っている。しいていえば人畜無害ということか
 な。⑨ 自分の能力、特質を最大限發揮してほしい。

＊「エーオハヨウサンでゴザイマス」先生の午前中のごあいさつ。
 ユニークな授業で私たちを世界中の旅につれて行って下さいませ。
 めがねの奥にかくされた優しい瞳。卯年生まれの28才独身です。



増山 先生

① 英語 ② S2年8月21日 ③ 京都
 ④ 京大(文、英文) ⑤ 運動、読書、囲
 碁 ⑥ 誠実に、力一杯に ⑦ 「がんばら
 なくっちゃ、がんばらなくっちゃ」⑧ 広
 い世界がある。自分の理解をこえる世界が
 あることを自覚した謙虚な日々を生きるように。明るく、のびやか
 に生きるように。



＊今を去る二年前、始めてのリーダーの授業で「発」ポアコンス
 トリクター」教室内はア然……。これが先生のお人柄をすべて表わし
 ているようです。みなさんも一度お聞きになってはいかが？

山田 先生

① 生物 ② S7年7月22日 ③ 広島
 県三次市 ④ 広島大学理学部 ⑤ 登山
 スキー、写真 ⑥ 生徒を平等に扱い、判
 断力を養成する。⑦ 誠実、自分で考える
 ⑧ 神経質そうにみられることもあるが、
 のんびりしていて、さっぱりした性格である。⑨ 中学校でトップ
 クラスであった人でも、それらを集めた高校では全員がトップにな
 れない。何でもよいから得意なものをつくり、自信をもって頑張っ
 て欲しい。

＊知らぬまに黒板に大胆な字体(?)で書きはじめる。かと思つと
 その知的な(?)顔から冗談をくりだし、生徒を笑わせる。50分が
 飛ぶように過ぎてしまう楽しい授業をなさる先生です。



河瀬 先生

① 国語 ② S21年7月7日 ③ 兵庫
 県 ④ 京都大学 ⑤ 野草のスケッチと
 写真 ⑥ 困ったナ。教育方針」だ
 なんて。強いて言えば、自分の方が間違っ
 ているのじゃないかしら?いつも思うこ
 と。⑦ 困ったナ。何もありません。⑧ 困ったナ、これもないの
 です。ごめんなさい。⑨ Shyness を失わない人になって下さ
 い。

＊平安の絵巻物から抜け出して来たようなお人柄で、やさしく、し
 とやかな授業をなさいます。ただ、学校以外での先生のこととはま
 たく不明なので、実に神秘的な一面も持っておられます。



多賀谷 先生

⑨ 数学を勉強せよ、というのではないが、何かを学ぶ「情熱」を失って高校に在学するほど無意味なものはない。自分の知らなかったことを知るにいたる過程で身体が震えるような感動を3年間で1度でもよいから味わってほしい、と切望する。

※常にチャイムの前に教室入りし、授業は内容豊富、さぼりグセのついている者にとっては非常に厳しい。また数学以外の知識や経験を生かして、生徒の心を一番よく理解してくれる先生なのです。



藤田 先生

① 政治経済 ② S27年6月11日 ③ 大阪府 ④ 大阪大学法学部 ⑤ 山歩き ⑥ 物事を興味をもってみつめてゆく目と心が育ってほしいと願う。 ⑦ (中々そのようにはいかないけれど)よりよく生きること。 ⑧ 落ち着いているようにおっちょこちょい。小柄で黒板の上の方には手が届きにくいのが元氣です。手紙にまで笑顔同封

⑨ 私も大手前出身ですがその経験を通して感じたことは、個々に色々悩みはあってもやはり大手前は「温室」だったし、今もそうだと思います。温室から飛び出して木枯らしの中にふきさらされた時もしっかりと土に根をはっていけるようになってほしいですね。そして社会の動きをじっくりと見つめてほしい。

※いつもニコニコ、はっきりとした口調で、すがすがしい授業をなさいます。昨年の夏には女の子が誕生。育児と学校とさぞかし忙しい毎日を送っておられることでしょう。



岩上 先生

① 英語 ② S30年8月8日 ③ 大阪 ④ 大阪外国語大学 ⑤ 読書・謡 ⑥ 模索中 ⑦ 計画・実行・反省のリズムをつくること。 ⑧ 表面だけ取り繕わない

ところが長所、取り繕えないところが短所かな。 ⑨ 自分が一番したいことは何か、それを最も良い方法で実現するにはどうしたらいいのかをいつも考えていてほしい。ぼやっと過ごしていたら、自分のしたいこともわかりませんよ。

※先生歴2年目の、大変お若い先生です。授業は丁寧で、小さな地声を精一杯大きくして毎日奮戦しておられます。いつ質問に行っても親切に答えて下さり、先生のお人柄がしのべれます。



河合 先生

① 数学 ② S28年2月13日 ③ 兵庫県 ④ 京都大学 ⑤ ドライブ ⑥ 自主性を育てたいが、なかなか・・・ ⑦ 精神生活を大事にしたい。 ⑧ 何故自分が高校へきて勉強しているのか考えて勉強して欲しい。

※「河合先生教え歌」
一つとせ、人にはできないこの授業、大きな声では叱りません。
二つとせ、不等式や確率も、すらすら解きます解かせます。三つとせ、みーんな真面目に学びます、"仏のカワイ"でいて下さい。



岡 先生

- ① 国語 ② S6年5月6日 ③ 大阪
 ④ 大手前高校 ⑤ ? ⑥ 不慎不啓
 ⑦ 唯我独尊 ⑧ 自己PRは最も不得意
 てれくさくてできません。⑨ 大いに悩ん
 で苦しんで強く優しく明るい心の持ち主に
 育ってほしい。大手前生は、あまりにも優等生的で小ぢんまりとま
 とまりすぎているように思います。どうかスケールの大きな人物に
 なって下さい。



★一風変わっています。チャームポイントのオカッパ頭、胸にジーン
 と響きわたる麗しきお声、授業の始めと終りの礼の優美さ、そのオ
 カチックな雰囲気、始終ただよわせていらっしゃるのであります。

須崎 先生

- ① 数学 ② T7年7月19日 ③ 鳥取
 市 ④ 広島文理科大学 ⑤ 音楽、映画、
 旅行 ⑥ 伸びるところを伸ばす ⑦ 白
 然に逆らわない ⑧ 刻々と変る日本、世
 界。この壮大なドラマを異なった地点で見
 るため時々旅に出かけている。⑨ 自分の進みたい方向を自分でしっ
 かり定めることと、若い年代の価値の大きい時間を効率よく使用す
 ることを望んでいます。



★絶え間のない笑いと大らかな雰囲気の中で先生と生徒が共に数学
 の問題に取り組んでいるその授業には、ユーモアがあふれていてと
 てもいい。怒ると怖いけれど、その後苦笑いしていらっしゃるその
 姿からは、とても親しみが感じられて、自分でもおっしゃる通りや

さしい先生なのです。

小松 先生

- ① 日本史 ② 1931年3月10日 ③
 産は東京、故郷は茨城 ④ 大阪大学文
 学部 ⑤ あらゆる形の旅(但し観光およ
 び団体を除く) ⑥ そんなもんじゃないよ
 ⑦ 生きているのが興味となっちゃったわ
 たし ⑧ なにかしくじった感じの半生(2/3生か?)。反面教師
 にして下さい ⑨ 若きインテリゲンツィアとしてのプライドと、プ
 ライドを持ち得る生き方をすること(今の大手前生に欠けてると思
 うよ)。



★であの、先生は俗称小松ちゃん、専門は山、OL、鉄道と日
 本史。授業は歴史の裏面を暴露し楽しくて眠れないこと請合です。
 時に幻のコヒーを入れて下さるとか。嫌いな物はアンノン族(の
 不美人)と赤点。

荒井 先生

- ① 保健体育 ② S13年5月8日 ③
 栃木県 ④ 東京教育大学 ⑤ 家庭菜園
 作り ⑥ たくましい人になってほしい
 ⑦ あるがままでありたい ⑧ 見た目以上
 にやさしい。⑨ 各自の持っている素質を



十分に発揮して可能性を開け。期待をうらぎらない人間になってほ
 しい。もう一言、大切な時に「シラケルナ!!」
 ★心をこめてパスをしる、の言葉のもとに僕等にグラウンド五周ラン

バスをさせる先生。集会等、前で、話をやめ、とおっしゃる方で、いつもは体研にいらっしゃる背の高い青いジャージを着た先生です。

近藤先生

- ① 世界史 ② S 20年8月15日(?)
- ③ 奈良県 ④ 奈良女子大学 ⑤ 菓子作り(機会があれば試食して下さい。)
- ⑥ 自立と協力の精神を学ぶこと。
- ⑦ “今日のごことは今日にて足れり”(こ



の聖書の言葉を私なりに「今日一日精一杯努力すれば、明日のことを思い煩わす必要はない」と受取っています。⑧ 高校時代は、新聞部、文芸部、哲学クラブ、茶道、卓球部(これは一年で止める)等、クラブ活動で遅くまで学校にいましたし、新任教師のころは、仕事で暗くなるまで頑張りましたが、近頃では終業のベルと同時に校門を飛び出しかねない反面教師になってしまいました。今、痛切に思うことは、読書の時間を確保したいと云うこと。さらに時間があれば、野山を歩き、民話を集めたり、写生をすることが夢。そのため体力作りにと、日曜日、テニスを始めました。⑨ 与えられたものだけに汲々とするだけではなく、自主的に勉強の計画を立てて、どんどん実行していく力と根気をもっと身につけてほしい。そして、風雨にも耐えて可憐な花を咲かせる雑草のような逞しさをお互いに持ちたいですね。

＊授業中とても熱心に説明して下さいます。ときどきミスをして、「まちがいー」と訂正されますが、そこが生徒にとっては親しみやすいのではないのでしょうか。

木山先生

- ① 理科・生物 ② S 13年7月14日
- ③ 広島県比婆郡 ④ 広島大学理学部
- ⑤ 史跡の散歩 ⑥ 個性のある人に育成すること ⑦ 正しく強く生きる ⑧ 外



見적으로는固苦しく感じられると思いますが本心はそうではないので、気軽に話しかけて下さい。⑨ 伝統校として各自ブライドを持ち、勉強のみでなく、クラブ活動等も活発で有意義な高校生活を過ごしていると思う。欲ぐをいえば何事にももっと積極的に行動してほしいし、力強さが欠けている。

＊ユーモアに満ち、また真面目そうな先生にはとても信頼感があります。そして、先生の笑顔はとて優しく、私達は先生に、まるで隣のおじさんのような親しみを感じるので。

平口先生

- ① 英語科 ② S 11年5月19日 ③ 大阪市 ④ 大阪大学 ⑤ 卓球・旅行
- ⑥ 協調性豊かな人間を育てること。⑦ 他人に迷惑をかけぬ人でありたい。⑧ 善意にあふれた人情厚き人間 ⑨ 自分の将来をよく見定めて、目標達成に励んで頂きたい。



＊温厚で、常に微笑を浮かべていらっしゃいます。授業中は、懐旧の情を交えて学生時代の思い出話などもなさる、写真好きの優しい先生です。

中塚先生

① 理科—化学 ② S2年10月30日
③ 大阪 ④ 京都大学 ⑤ フルト吹
き ⑥ 努力 ⑦ 誠実 ⑧ 生地のまま
行動 ⑨ 現代も昔も大手中生の本質には変
りない。若さというか、未完成であること
をむしろ強味として、あらゆることに挑戦してほしい。その点で現
代大手中生にいま一層の積極性を期待する。
*先生が3学期より栄転されて、寂しい毎日を送っている女生徒の
ファンも少なくない。(かくいう筆者もその一人)あのやさしい笑
顔とまなざしは、永遠に私たちの胸の中に残るだろう。



泉田先生

① 保健体育 ② S26年1月28日 ③
宮崎県 ④ 東京教育大学体育学部 ⑤
観葉植物を育てること ⑥ 厳しく優しく
母のごとく姉のごとく ⑦ 深海の魚族(一
深海にすむ魚族は、自らが光を放たねばそ
こに光はない) ⑧ 最近、目尻のしわがとでも気になります。ま
だまだ若い20代だと、真赤の口紅をつけて頑張ってるんですが、息
子共は「口裂け女だ」なんて言うのです。シュン!!この気持ちわか
る? ⑨ 女生徒へ:女だからってどこかであきらめたり、投げや
りになったりすることがあるけど、そういうのが一番イヤ!!女であ
っても頑張るところは頑張らなくっちゃ。すこし最近の大手中女
生徒には昔の生徒と比べて、女だからの傾向があるように思う。
*体研の紅一点泉田先生は、小柄ながらシャキッとしておられ、私



達がぐずついていると、自分から先にたって動き始められます。で
も女子には、気兼ねなく、色々話のできる大変優しい先生です。

浅野先生

① 世界史 ② ?年3月22日 ③ 上海
このころ中国では統一の気運が高まり、日
本軍の山東出兵に対し「排日」の空気がひ
どかった。 ④ 上海中学校、東亜同文書
院大学をへて戦後日本の大学で、中国史を
専攻。 ⑤ 意外でしょうが「こけし」蒐集(ただしなるべく小型
でなるべく三百円以下の安物) ⑥ 自分の可能性の限界に挑戦せ
よ。 ⑦ 「熱意」何事にも全力投球で、そのかわり「自分の時間」
には好きなことすべてを忘れてたのしむ。 ⑧ おこりん坊だが
裏も表もない。「好き」、「きれい」がはっきりすぎて困る。



⑨ 世の中には魂の底から揺すぶられるようなすばらしいものが無
数にある。スポーツ、音楽、美術……そして君たちが学校で勉強し
ている初歩的な勉強の中にも「なるほど、そういうことなのか」と
長い間の迷妄から一瞬に開放されたような感激を味わうことがある
だろう。「感動すること」を失ってはいけない。疲れたとき北浜や
梅田の画廊めぐりもたのしい。(たいていは無料だ。)FMのスイ
ッチを入れたらブラームスが聞こえてくる。財布の中はプーアでも、
心の中はリッチでありたい。
*先生は、とてもゆかいな先生で、歴史につきもののエピソードな
どおもしろおかしく話して下さいます。歴史担当ということで、頭
が占いと思われがちですが、なかなかのベストドレッサーです。

竹田先生

- ① 音楽 ② S 25年1月22日 ③ 大阪
④ 大阪音楽大学 ⑤ 土鈴あつめ ⑦
まず健康であること
(⑥⑧⑨は御回答なし)



＊竹田先生のあの素晴らしいソプラノ！は
ればれといたします。教科書だけにこだわらず、いろいろな歌を通
じて、音楽の楽しさを教えて下さる優しい先生です。

広田先生

「ポッコリ」の別称で親しまれておられる広田先生は、自他共に
認めざる余地のない天才です。先生がその天才的頭脳のヒラメキを
駆使され、難問を「こんなもん、やすいやんけ」と即座にお解きに
なるのを拝見するたびに、数学オンチの筆
者はただ感嘆したものです。とはいえ筆者
の数学の点数はいっこうに上昇しませんで
した。先生がマシンガンのごとく連発され
る強烈な冗談のみ全身全霊でもって拝聴し、
文学の香り高き講釈や、突如として「ウェ
ール、オール、イズ、ソルブド、ポッコリ」などとおっしゃる英語
での説明に、気をとられていたためです。ご自分でもおっしゃるよ
うに先生の冗談はひとつ出ると際限なく沸き起り、生徒は息つく
間もなく笑わされ、教室の窓ガラスはビリビリ、授業が終われば頭
クラクラ、ノートには日付と問題番号が記されているのみーなん
でこともよくありました。よく「かいらしーな、あんた」と言っ
てくださる先生、どうかいつまでもお元気で。



木田先生

- ① 数学 ② S 27年1月12日 ③ 愛媛
④ 岡山大学 ⑤ 現在は開業と下手なテ
ニス ⑦ 固定観念に拘束されないこと
⑧ 頼りがいがあったらいいなと思うだ
万能で個性豊かだったらいいなと思うだ
け。 ⑨ いろいろな意味での強さと実力を貯えていてもらいた
い。自然とのふれあいを大切に(ちょっとキザかな?)。
(⑥は御回答なし)



＊若さと情熱あふれる授業、出走ったまなこ。数学の大家「めだか」
ちゃんこと木田先生は、体育祭、水泳大会などにおいて数多くの活
躍をなさり、「大手前に木田あり」と世間に言わしめたのです。

伏見先生

- ① 保健体育 ② S 9年5月23日 ③
福島 ④ 福島県立福島高校 ⑤ 読書、
音楽鑑賞、観映 ⑥ 個性伸長 ⑦ 自主
独立 ⑧ 健康づくりのための「体育の生
活化」をめざし、学校体育に微力をそそぐ
⑨ 都会的の青年で野心家たれ



＊伏見先生は大変温厚で、それゆえに多少、女生徒のおしゃべりに
手こずっていらっしやる所もお見うけしますが、体力に合わせた適
切な指導をして下さいます。体操のふりのユーモラスな親しみやす
い先生です。

高塚先生

- ① 保健体育 ② S 27年3月11日
 ③ 大阪府 ④ 茨木市春日丘小 ↓ 茨木市
 西中 ↓ 大阪府茨木高 ↓ 東京教育大学

⑤ 特になし (新聞の切り抜き)
 ⑥ “信頼”と“努力” ⑦ 不言実行

⑧ 主観ばかりになって書きにくいので誰か適当に書いて下さい。
 ⑨ 素晴らしい人達のおつまりだと思ふ。しかし苦言を呈させて頂ければ、秀れた資質、能力を持っているのに、それが外に出ていない面があると思う。

*高塚先生は大手前高校でも指折りの若さで、その授業もバイタリティーに満ちあふれています。いつも生徒と一緒に走りまわり、もしかすると高校生ではないか?と疑わせるほどです。



清水先生

- ① 物理 ② T 14年3月27日
 ③ 大阪 ④ 旅、登山、スキー、神社参
 拜、写真、正食 ⑥ 思考力、独創力の養
 成 ⑦ 食と霊を正し、道を歩む

⑧ “捻るほど頭の下がる稲穂かな”とい
 う歌がある。覚える勉強でなく、道理を考える勉強をし、さらに朝
 夕の挨拶から、日上を尊び、礼儀をわきまえた生徒になるように、
 つとめて頂きたい。

*授業を始める前に心を静めるために黙とうさせる「礼儀」を重ん
 じる先生ではあるが、授業中は優しい。



浜田先生

- ① 物理 ⑤ 多趣味、現在主なものは、
 1. 舞台芸術 (歌舞伎からオペラまで) を
 鑑賞し、暇な時はレコードで感動を再現。
 2. アメリカのユダヤ人作家の作品を系統
 的に読んでいる。特に心理療法に関係があ
 るので、フィリップ・ロスのものを読んでいる。

⑥ 豊かな個性
 と暖かい人間味のある人に育ってほしい。そのために少しでも力に
 なりたい。 ⑦ 1. 困難にあっても希望を失わない。 2. 周
 りの人を少しでも元気づけ、それによって自分も元気を出すように
 努める。 ⑧ 1. 知的好奇心を持ち続けて欲しい。 2. 相互に
 啓発的な人間関係を築いていくように努めて欲しい。

*「生活指導部から……」でおなじみの浜田先生は、朝礼台の上と
 同じ調子で授業をなさいます。その少々早口の授業を聞いていると、
 物理が“できる”気になるから不思議!! 教師というものは、ただ単
 に技術を伝えるだけでなく、心も伝えるものである、というのが、
 先生の信念だそうです。



高谷先生

*保健室でみんなの世話をして下さる先生
 ですが、少し厳しい人なので御注意。仮病
 なんか使っても一べんで見破られますよ。
 また、厚生委員の方は決められた集合時間
 はきっちり守って下さい。筆者等も、何度遅刻して怒られたか分ら
 ない。でも本当はみんなの事を考えて下さる優しい先生なのです。



鳴上先生

① 国語 ② T11年4月5日 ③ 奈良
 県 ④ 関西大学 ⑤ 短歌、書道 ⑥
 創造性と情操の陶冶 ⑦ 努力 ⑧ 1.昭
 和21年第一回毎日マラソンに奈良県代表と
 して出場した。 2.著書「花に坐す」「心
 神(こころど)」の二歌集がある。 3.書道「出源」の六段。



⑨ 大学に合格することが最終目標ではない。実社会に出てからが大変である。週刊誌を読むだけの人生には成長はない。「人生を如何に生きべきか」の目標意識をもって努力することである。

＊鳴上先生は、短歌に精通しておられて、授業では、その話や各地を旅行した時の話などして下さいます。滅多にお怒りになりませんが、単元がすむごとの漢字のテストには注意。

竹川先生

① 美術・工芸 ② S11年7月14日 ③ 枚
 方市 ④ 枚方小学校 ⑤ レコード、あつめ
 たりきいたり ⑥ 自分の口でものを見れる
 人を……と願っています。 ⑦ 考えたこと
 もない ⑧ PRするほどの中身なし



⑨ 明るくて結構です。ものごとく今少しけじめを。
 ＊いつも美術室で緑のジャンパーを着ておられ、よって渾名ミドリ虫。どこか超然としておられる所があって、一見芸術家風、実は一寸変わった人だと思うけど、親しみもてる先生です。

今西先生

① 日本史 ② S24年11月3日 ③
 大阪 ④ 京都大学 ⑤ いろいろ(テ
 ニス等運動、料理、音楽をきく事、本を読
 む事etc) ⑥ 方針と人に言える程のも
 のはない ⑦ 人に言える程の生活をして
 いない(信条なんて、生活をみればわかる?) ⑧ わざわざPR



しようとは思わない。みればわかるor ありのままみて下され
 ⑨ 毎日、今日も一日よかったと何かに(or 誰かに)感謝して寝
 れるような日々を送って下さいヨ。

＊笑みを絶やさず、なぜか常に体を傾け、「あのー何ですわねエ」と
 いう調子で話しかけるように授業されます。ユニークな観点で物事
 をとらえ、ユーモアたっぷりに話して下さる、親しみやすい先生
 です。

中川先生

① 書道 ② S10年10月9日 ③
 奈良県 ④ 奈良教育大 ⑤ 卓球
 ⑥ 教育基本法の精神にそって ⑦ 白王
 自律和親協力 ⑧ 無解答 ⑨ 時勢に押
 し流されることなくしっかり自己をみつめ
 ておのれの命を精一杯生きてほしい。



＊中川先生は一見恐そうですが、実は大変お優しい先生です。何事
 にも貞剣で、熱心に授業をなさり、字を見てもらいにいくと、良い
 字には思いっきり幾重にも丸をつけて下さいます。

クラブ紹介

運動系クラブ

サッカー部

部員数は、2年15人、1年19人、マネージャー1人、計35人と非常に多いクラブです。練習は2年主体ですが、フォーメーション以外は1・2年全員で能率的にこなしています。運動場が狭い、練習時間が5時15分までというハンディを背負っているけれど、それだけに練習内容も充実して先輩と後輩の雰囲気もよく、チームワークとガッツは最高です。

サッカー部は 常に前進し続けるノ

ラグビー部

ラグビーは過激なスポーツである。すり傷切傷はもちろん、ねんざや打撲も日常茶飯事である。しかし、慣れてくると少々のことでは平気なタフな体になるところは保証できる。そして、毎日の練習の後のさわやかさ、泥だらけの体に浴びるシャワーの味もまた格別である。さて興味のある人は、一度グラウンドまで見学へどうぞ。

硬式野球部

春・夏になると甲子園の話題が飛び交う。そんな時でも、大手前野球部は、甲子園と同じボールを追っている。だが、ここ数年、大きな功績もない。もし、野球を好きな者、高校野球に魅力を感じる者は、ためらわずに入部してきたらいい。高校野球では勉強との両立も当然のこと。今年に卒業される先輩は全員が優秀な成績で、野球の方でも、強かった。君も今すぐボールを追いかけてよう。

軟式野球部

勝つことは難しい。だが立派に負けることも勝つこと以上に難しい。五十二年九月、数名の有志によって再興されて以来、隆盛の一端をたどる我がクラブは、現在大手前高クラブ界の新風として脚光を浴びるに至った。自由奔放かつ合理的な練習法により切磋琢磨周囲の偏見に屈することなく、躍進を続ける新興軟式野球部の前途は多望である。

男子バレーボール部

我が男子バレー部は日夜練習に励んでいます。その根底に流れるのは誰もが誇りに思っているチームワークであるといっても過言ではないでしょう。ファミリーという言葉があたりはまる仲間たちと毎日過ごす部活動の間は高校生活に於ける青春そのものだ。

現在バレー部は2部でこの秋の新人戦はあと一歩のところまで惜しくも1部に上りそこねたが来年こそはとほりきっています。

女子バレーボール部

我が女子バレー部はいつも燃えているクラブです。月水金は外のコートで泥だらけでこぼれまわり、火木土そして日は体育館で技術UPにはげんでいます。女子部の中では随一練習の厳しいクラブです。しかし先輩、後輩の関係はすこぶる良くクラブ外では友達のように一緒に騒いでいます。又言葉使いが良くなるのも特徴です。貴重な青春時代、バレーを愛する少女達は今日も白球を追っています。

水泳部

四月末と九月末日まで泳ぎます。練習の厳しき、孤独さに耐えて合宿さえ乗り越えればすべてが自信に結びつき、根性、忍耐力、精神力が充分身につきます。又、長い歴史と伝統のあるクラブで代々にわたる多くの先輩方がおられますが、年齢の隔りなどは全くなく誰とでも気軽に話せて、いつも楽しいムードが漂っています。

柔道部

我が柔道部は男くささが漂う野生児の集まりです。が、精神構造に異常を感じる男が大

半(いや全部)をしめ、熱狂的かつシビアに成り立っているのです。野郎達の練習は少しきびしく、先輩と後輩は寝技のスキンシップを尊重し、仲のよさでは定評があります。バリーカが口癖の肉と脂肪と力の塊河崎六段に縋りつきながら腰痛にもめげず肉体美を追い求め、おっさん達は柔道に喜書を燃やしています。

■男子ソフトボール部

我が男子ソフトボール部は、一時、部員数二人にまで落ち込みましたが、現在では二十名に増え、そろそろ対外試合を始めようかというところですが、部内は、これから伝統と実力を培っていくとういう意欲に満ち溢れています。このように、これから伸びてゆくクラブです。インターハイに出場する日もそう遠くはありません。皆さん、どうぞ。

■軟式テニス部

我々は軟庭を「楽しむスポーツ」だと受け止めている。実際、実に楽しいスポーツで、けたたましく繰り返されるラリーの応酬や、激しく大胆な前衛のプレーからくるスピード感スリルは軟庭をやった者以外はわからぬ格別なものである。勿論これにはある程度の基礎体力は不可欠で、これの養成に余念がない。又クラブ内は親近感に満ち溢れたアットホー

ムで爽やかなムードが重んじられているのだ。

■硬式テニス部

コートの日には必ずやってくるというあの大阪城での基礎練習。あの極めて苛酷な練習に耐えぬいている部員とはどんなのだろうと恐怖におののいてしまいましたが、実はとても優しい人ばかりなのです。筆者が逆立ちができないと、出来るまで一緒に練習してくれた女子。ランニングの時、追い越す際に「ファイト」と声をかけてくれた男子。優しさ一杯花一杯の現役18名のクラブです。

■男子バスケットボール部

大手前にあつて唯一の勝つためのクラブです。以前国際審判員をされた顧問の下で、短い時間をフルに活用する「量より質」型の練習をし、前年度は、新人戦で近畿大会に出場、インターハイ予選では惜しくも府下三位で全国大会出場はならず、涙をのんだ。現在前年度に追いつけ、追い越せとばかり、きびしく、きびしく、そして楽しくボールを追いかけたいです。

■女子バスケットボール部

我が女子バスケットボール部は、その名も高い庭野先生の指導のもとで、火木曜日は運動場、大阪城で体力作り、他の日は体育館で

日夜練習に励んでいます。日下、部員数の欠乏に悩んでいます。それだけに団結も強くそこから得られる充実感は何ものにも代えがたいものです。

■卓球部

「卓球」というと一般には娯楽と思われるがちです。でも、その運動量はサッカー等のそれに匹敵するのです。卓球はれっきとしたスポーツなのです。そして一流選手は素晴らしい技術を持っておられます。でも、あなただってうまくなれるのです。努力を積み重ねさえすれば、事実、たった一年間で大阪府のシード選手に選ばれた方がおられます。経験者は勿論、初心者も入部を大歓迎いたします。

■空手部

わが空手部は、顧問の中塚先生のご業転によって空手を指導監督する先生がおられないので休部になっています。けれども我々は部としての活動をあきらめ、解散したわけではありません。新しい顧問の先生が見つかりました。空手部は活動を始めます。全部員は少しでも早く、その日が来ることを祈っている現在です。来たれ、空手部へ!

■陸上競技部

「号砲が轟いたその時、そこには君しかい

ない。陸上競技というのは、自己の限界との
あくなき闘いである。それだけに、陸上部と
いう「集団」の存在は大きい。広い入口から
この世界に踏み込んだ君達全員が、共に苦し
み、喜んでいけるうちに、いつしか君達の前後
に大きな道ができている事に気付くだろう。

そして、その中には確かに自分だけの道が見
えるのだ。STEP BY STEPでGO

■剣道部

剣道をすることにより、武道という道を進
んでいくことができる。武道とは、他のスポ
ーツと違い、命がけのものである。ゆえに、
その道を進むことは難しい。わずか高校3年
間の中で、その真の道を進むことはできない
であろう。しかし、その道に歩み、その道を
進みたい者に言う。剣道を試みて、身体を鍛え、
精神を磨き、りっぱな人格をもつ人間となろ
うではないか。

■登山部

山に憧れ、山に限りない郷愁を抱く者の集
まり、それが登山部である。濃霧に包まれた
夏山の稜線で、晩秋の星空の下で、冬の一面
の銀世界で、我々は人生を語り、感傷に耽り、
自分をみつめる。不断のトレーニング、極限
とも言える自己との戦い、そうして勝ち得た

山との対話。生死を共にした仲間との結集は固
い。深山の懐に抱かれての安らかなる眠り、
それこそ我々の求めて止まぬものなのだ。

||文化系クラブ||

■書道部

書道部は、毎週月水金の放課後に作法室で
練習しています。いつも朗らかで楽しく活動
し、その上、やさしく、きれいで、上品な字
人達ばかりです。部員数が少ないのでたくさ
んの人に入部してもらいたいです。特に男子
なんか大歓迎ノ、とにかく一度作法室をちょ
っと見に来て下さい。

■映画研究部

映画は、文化祭に発表する映画の製作を中
心に活動しています。映画を作るのは、脚本、
撮影、演技、編集、録音などのあらゆる芸当
を、限られた時間内に、少人数の部員でやり
こなさなければならぬ、実に大変なことな
のです。それだけにできた映画は、血と団結
の結晶で、どんなに出来の悪いものでも、完
成の喜びは、この上もありません。おお、映
画とは何と素晴らしいクラブであることか。

■E.S.S.

現在部員の総数十名。クラブ長屋の一室で

細々と、いやたくましく活動しています。年
間行事としては、文化祭、文化系クラブ発表
会での英語劇、夏休みには、大阪城、京都周
辺で、外人との会話実施訓練、弁論大会等多
彩な計画をしています。といっても初めから
このような事はなくSTEP BY STEP
Pで進んで行きたいと思っています。英語の
好きな方は、さっそくE.S.Sへおこし下さい。

■写真部

わが写真部は、普段は一番暇そうに見える
が、最も動き回っているクラブです。体育大
会、球技大会、水泳大会のときなどは、常に
決定的瞬間なるものを追い求めています。ま
た、暗室内で自ら特殊技法(ソラリゼーショ
ン。シチュエーション)を行なえます。カ
メラと何でも撮る意欲のある方で、できるだ
け安く写真を仕上げたい方たちへのメッセー
ジ。さあ、今すぐ写真部へ!!

■理化学研究部

我がクラブの活動内容は、昨年度の流星観
測のための合宿、太陽黒点の観測、そしてシ
ンセサイザーの製作など、天文、物理、化学
を中心に、科学全般に渡っています。活動形
式は、個人、グループで積極的に、自発的に

研究し、上級生が指導する方法を取っています。したがって、新入部員には、積極性、知的好奇心にあふれている人を望みます。科学者を自負する人は、我が理化学研究部へ!!

■新聞部

新聞部といえば、記事を書くだけの、辛気くさいクラブと考えている人も多いだろう。しかし、新聞部の仕事は書くことだけではない。楽しみはなんといっても他校訪問。他の学校の人と仲良くなれる良い機会だ。だから、おしゃべり好きな人にも入部してもらいたい。部屋の中はいつも明るく、誰でも気軽にいれる雰囲気だ。苦しい事も時にはあるがとにかく、良いクラブである。

■美術部

美術とは、写真以上の写実性を、或いは明暗により光そのものの表現を、また色彩の調和による美を、そして感情を画面にぶつけることにより自分自身の内面の表現を、追究していき、美の極限に到達しようという芸術である。そしてこのタテマエを隠れ蓑として、好きなように、勝手気ままに油絵を描きつつ、雑談に励むというホッネを遂行しているのが我が美術部です。絵の好きな方はどうぞ!

■音楽部コーラス班

朝のすがすがしい空気と共に音楽室より流れてくるコーラスを、耳にした方は多いことでしょう。あれは、混声四部に魅せられ、その美を追求し改めてその底知れない奥行きに深さに驚き、感動し、それを真底愛しんでいる私達の姿なのです。我が部は、年間行事が多く、練習もハードなものとなりますが、無の手さぐりの状態から、切磋琢磨により一つの物を完成させていく過程を大切にしています。

■音楽部軽音班

今やどこへ行ってもいろいろな音楽がクロスポービーしております。そんな中で我が音楽部軽音班は、自分たちが最高だと信じた音楽をやっている者の集まりであり、常に新しいものを求めてやまない開拓者でもあるのです。レコードを聞いているだけでは満足せずバンドを組んでガンパロウと思う新入生諸君は、我がクラブへお入りやす。

■地理歴史研究部

本校の中心的存在、「地歴部」。部屋は、本館、伝統のいにしへの間。まさに中心に存在しています。活動日は、月、水、土。ひとたび、部室に入れば研究に余念のない真面目なクラブです。(外部から何やら声が…)また、史跡探訪目的の見学などもあり楽しいク

ラブです。部員同志はもちろん、顧問の先生方、OBの方々との交流も盛んな、なごやかなクラブです。新入部員、大歓迎!!

■放送部

我が放送部、部員は女子ばかり九人、普段は週一回あるかないかの活動しております。が、行事前ともなると俄然表面にしゃしゃりでてくる(?)部なのです。アナウンス、放送機械の設置、操作、男性諸君が興味を持ちそうなことだと思っておりますが、一向に男っ気なし。男性諸君、この放送部に入ると、もてると思いませんか?ともかくにも放送部へどうぞ。

■演劇部

本館の三階、クラブ長屋にある演劇部の部屋には、いつも、笑いと有意義な会話―演劇一般?から勉強、芸能一般、漫画、その他諸々の出来事に至るまで―が満ちあふれている。部員が全員女子というのが悩みで、「ロミオとジュリエット」が出来るような男子を求めている。少し(?)怠慢なところもあるが、楽しいクラブであることは大手前一だ、と部員は思っている。

■文芸部

愛・生死・罪、男とは、女とは、人間とは

どういふものかと熱っぽく語り合う――のを理想としながら世間話に脱線しております。

しかし、この他愛ないおしゃべりが自己の思慮を深くし、終着のない問いの答に近づく糧となつていきます。そして、内部の混沌の整理と外部への発散として、詩など綴つていきます。時に、それを見せ合い、批評し合い、文集として皆様におめにかけています。

■ 生 物 部

我々のクラブは、優しさと細やかさとを兼ね備えた人間を必要としている。生き物を扱うものにとって、それは、なくてはならないものである。そうでない人間は我が部にとって不必要である。でもほんとうとね、そんなことどーだつていいのよ。誰でもいいからはいっておくれ。特に、金魚すくいが好きな人。ヒマな人。ついでにギターを愛する人。

■ ダンス同好会

決して難しいものではありません。自分の心を、自分のイメージを、仲間と一緒により広がりのあるものにし、自分の体でもって表現していくのです。音楽と幻想と自分とがすれちがうファンタジックな世界。聞こえは堅苦しいかもしれませんが、只今部員十人、和気あいあいとした雰囲気です。

どんな人にもできる自由なクラブです。新入部員歓迎！

■ 落語研究同好会

きたれ！若人連よ、落研へ。我が落語研究同好会は、大手前高等学校における唯一存在物なのである。宇宙の笑いを求めるため、日夜邁進しております。この同好会に人会すれば、しらけた客席の反応に対する強い精神力が養われるのであります。笑いを愛し、真の笑いを求め、ド根性をつけようとする若人たちは、我らが落研に入りましょう！

■ 吹奏楽同好会

「所詮同好会やんけ」世間の人は言うが、我が同好会が存在しなければ、青少年会館（文化祭）・文化系クラブ発表会は、成り立たないであろう。まさに文系クラブのエースである。：が。その実体は誠に不可思議千万である。芸術家が多いといふかなんというか。目下部員不足にもめげず!? 「音の美学」を求め、奮闘中である。

■ 鉄道研究同好会

鉄道とは何ぞや、庶民の足であり、旅のロマンを与えてくれるものであります。では鉄道研究同好会とは何ぞや、たび重なる国鉄、私鉄の運賃値上げにもめげず、ひたすら、あ

のガタンゴトンという音に愛着を感じて鉄道に乗りたがる男の（女でも可）の集まりなのであります。どうです皆さんもあの音に酔いしれてみませんか。

■ 棋道同好会

将棋の蘊奥をきわめんと欲する者少々、その人への義理で入部している者数名、計11名で講成されております。昨年本校を巣立っていかれ、その実力は府三位といわれていたH氏（その後の消息は不明）の栄光を我がものと思い、裸電球の眩しさにも耐え、毎週火木上の放課後、作法室に於て黙々と練習に励んでおります。いそいそと家路を急ぐあなたぜひ作法室にお立ち寄り下さいませ。

クラブ直撃インタビュー!?

- Q1 部員数はどのくらいですか？
- Q2 練習はつらいですか？怠慢ですか？
- Q3 あなたのクラブの名物は？
- Q4 大手前にとってどんな存在ですか？
- Q5 合言葉や隠語などありますか？
- Q6 入部して得られる最たるものは？
- Q7 新入部員は最低限何が必要ですか？
- Q8 最後に、あなたのクラブの目標は？

クラブ名	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8
サッカー	男34 マネジ1	真剣そのもの	ゴールに入らぬ特大シュート	赤、青の練習着でグラウンドを舞う大手前の蝶	じいや・不滅の1連敗	友情というか同性愛というか	ストックキングとタムシチンキでOK	もちろん正月にテレビに出る事
ラグビー	男23 マネジ5	つらいけどおもしろくなるでしょう	桂きん枝と川谷祐二	雨になると元気になる蛙のような者の集まり	One for All All for One	根性と腰痛	ラグビーに対する深い情熱	打倒、天王寺高校
硬式野球	男15 マネジ2	一年間を通し、一番の練習量と断言	季節によって変わる	目立つ	口には出しにくい	精神力	和を大切にすること	大阪大会での勝利
軟式野球	男20 マネジ3	主観的判断にもよるが一応普通(基礎練なし)	快腕藤本の甘いマスク	歴史は浅いが未知の魅力がある	チャッカリ	強靭な肉体と精神力	野球経験者であること	大阪を制すること
男子バレー	男11 マネジ4	怠慢なはずがない	ワンマン一足とび	勝たなければならぬ	グメッ！元氣元氣！	部の仲間との友情言葉使いが良くなる	バレーボールを心から愛する気持ち	1部昇格
女子バレー	女16 マネジ2	つらい！が、顧問不在のときに怠慢する	ワンマン	女子部では唯一のクラブといえる	制限！増し！	高校生としての喜び生き甲斐・価値	覚悟	もちろん、インターハイ・国体にどんどん出場すること
水泳	男13 女18	シーズン中はかなり厳しく、合宿は特別	名物人間の集まりです	目立たないが時に大会上位進出	おまえセンスエーのー	強い体・不屈の精神・男を愛する気持ち	根性	山下とアッチ向いてホイをすること
柔道	男18 マネジ2	試合前はつらい。がおもにぬるま湯	ダンス見学ひよわ軍団	男の哀愁の根源がある	ふん！ほっといて！	時間つぶし	人数(質より量)	打倒・高津
男子ソフト	男20 マネジ2	怠慢じゃないと思いたい	他クラブとの定期戦	！	かなんのよ	和	やる気	中央大会ベスト16 近畿大会出場
軟式テニス	男8女11 3年12	大阪城ランニングはある程度つらい	雨あがりのお水取り	楽をして勝つためのクラブ	4-5			
硬式テニス	男10 女8	つらい！特に基礎練は想像を絶する	ふたごの様な男子2人	テニスの正しい知識を与える部	あれや、あれやで	やはり精神力と体力とよい仲間	雑草のような根性とねばり	インターハイ・ウィンブルドン
男子バスケ	男17 マネジ1	楽しく苦しくまじめでさぼって元氣よく	トレイナの笛と鉄アレ	日夜練習に励むクラブの鏡	教えきれない	リズム感と手拍子のとり方 挨拶の仕方	アホさと根性と目立ちたがる精神	近畿大会出場 インターハイ出場

女子	卓球	空手	陸上競技	剣道	登山	書道	映画研究	ESS	写真	理化 研究	新聞
女子 バスケット マネジ2	男子 マネジ7	男子 5	男子 15 女子 12 マネジ1	男子 14 女子 5	男子 13 女子 7 中1 鶏1	男子 10 女子 7	男子 8 女子 7	男子 9 女子 1	男子 5 女子 1	男子 17 女子 3	男子 11 女子 6
個人の考え方によって厳しくも楽しくも各部員のやる気次第	練習日は少なくても内容は充実し楽しい	苦楽の差が人。しんどい時でも楽しい	きびしく、つらく、そして楽しく……	殺人的ハード練習時々、日なたぼっこ	楽です	急慢	アメリカ国語教本を楽しくやっています	ほとんど自由参加で急慢も自由意志	人による	普段は急慢だが締切り間近に活気づく	
ヨーグルト体操	踏み抜いた床の穴	師範 中坊氏	タコとモンチッチ	年々回のレクレーション	登山部体操登山部唱歌	中川先生のコーヒー	ありません	大阪城での外人ハント	暗室設備の使いにくさ	部費の領収書	本館唯一の4階の部屋
わからない	我が高に鋭敏さを与えるクラブ	ひ弱な本校生のイメージを打破	頭もええし部も強いと思わせる	心をみがく、たのもしいうクラブ	部員以外には決して理解されぬ	存在してます	予算紀様だったりして……	英語教育界で非常な貢献をする	趣味と実益を兼ねる唯一の部	生徒に活動を知られていない部	よく他校を訪問し交流を深める
ファイトがんばろう	慎重！さよよし！	インケンタイムマン	強い人間になったという自信	精神の鍛練	極限状態から生還できる知力・体力	さまざまなもの有り	「言えませんが……」	「Don't Speak Japanese」	ラボより安く自分で伸せ	退部してもらおるか？	知ってる？もうすぐしめきりやで
強い精神	孤獨な勝負に勝ち残るための精神力	強靱な肉体と精神	良い意味の陰険さ	精神の鍛練	極限状態から生還できる知力・体力	書への理解が深められる	チラシやポスター	非常に英語において会話力がついた	技術(撮影・引伸・現像など)の修得	知識とユーモア	何物にもめげない図太い神経
やる気	部長とM氏のイヤミに耐え得る自信	礼儀止しき	足・やる気	根気とやる気のみ	唯一山を愛せる心	話題。いえ、居さずすればいい	根性	ESSで発音をマスターする	35mm1眼レフカメラ何でも撮る意欲	積極性の一語	何もいらぬ
部員数をふやし、いずれは中央大会出場	打倒！熊谷商！	体育祭でビールびんを鮮やかに割ること	Step by Step 全国1日リレー出場	もちろんインターハイ出場	ピアフォ・カラコルム ラトック1登頂	新1年生の入部。2・3年の方もどうぞ	鑑賞に耐え得る映画の製作	1年部員を一人でも多く獲得し部室拡張	写真展の開催	どこに出しても恥しくない研究者の育成	期日通りに新聞を発行すること

クラブ名	美術	音楽 コーラス	音楽 軽音	地理歴史 研究	放送	演劇	文芸	生物	ダンス 同好会	落語研究 同好会	ブラスパ ンド同好会	棋道 同好会
A1	男5女18 3年生	男4 女12	男15 女17	男4 女10 他2	男9 女0	男12 女0	男3 女5	男4女3 金魚など	男0 女10	男3女3 マネン4	男7 女12	男10 女1
A2	きびしく真面目で、 なおかつ驚異の怠慢	練習内容は非常に充 実しています	楽しい	部長が恐いから辛い 会計は親切で優しい	怠慢！自由！バラバ ラ！	文化祭の前はつらい	世間話に花が咲く	タイムン	時には辛く時には怠 慢といった気分屋	発表会前の朝練は実 につらい	調子にのるまでは怠 慢	気分しだい
A3	部室での蚊 との戦い		「軽音班ノ イト」	数ある遺物	美女ぞろい	狭くて美し い部室	奇怪な形の 部屋	タイムン	大塚さんの エイトマン	全員「名物 +変態」	新館！本館 のねり歩き	裸電球
A4	美術工芸の文化 水準(?)を高める	地味だが常に努 力して少しずつ 進歩している	唯一絶対のメン ア	一部生徒の顔い の場	あってもなくて もよいクラブ	ヒロイン的存在	冷たい目を浴び ながらも黙々と 歩んでいる	ない方が学校の ためになる部	運動系・文化系 に唯一属する部	邪魔物扱い	隠れたヒーロー！	空気のような存 在
A5	「50号でき た？」「もう ちょっと」	民主主義	なし	今日のHg・ 先生どうや った？	ありません	別がない	メチャ！	ニヤワワワ	大手前ダン ス部！ ファイト！	お前せえや 何で俺が！	なし	もう帰る やめてまえ
A6	時間を浪費する技術	何ものにも変え難い 精神面での成長	シビリアな音楽センス	よき友達	放送技術 美しい声	深い教養	多彩な考え方	タイムン	あらゆる物に対する 感情と創造力の養成	修学旅行のおみやげ 超人的聴覚(音感?)	自由と平和・人との 暖かいふれあい精神	
A7	ヤル気、スル気 コン気	歌が好きならなら どなたでも大歓迎	素直な心	器用な手先	先輩を敬う心	注文はつけません	字が読め、書ける こと	やる気	強いて言えば素直 なことです！	異常な精神力+変 態性	派手か地味な神経	美力、体力 (女子のみ)
A8	高校展で壁面を8m もろうこと	オペレッタと混声四 部合唱を発展させる	武道館で演奏するこ と	新入部員10人以上獲 得と文化祭の成功	校内放送の実施	日本の演劇界を背負 って立ち、プロード ウェイをめざす	文集を充実したもの にすること	できうる限り自然に 親しもう！	文化祭と秋の発表会 を成功させること！	オリンピック出場	吹奏楽コンクール金 賞	大阪府大会優勝 クラブ昇格 女子新入部員獲得

読物

モータースポーツ考

一年十組 秦 正佳



モータースポーツとは一般に理解されにくいスポーツである。「自動車で競走?人が楽するために作った機械動かしてなにがスポーツだ!!」

たとえば自動車レースの場合。ブレーキング、早すぎるのは言うまでもなく、遅いとバランスを崩しタイムロスとなる。加速時のアクセルを開くタイミングも早すぎればバランスを崩し、遅ければタイムロス、時にはバランスを崩す。速く走る為には1/100秒以内のタイミングをつかんでこれらを行なわなければならない。これにギヤチェンジがこれまた1/100秒単位で入ってくる。失敗すればバランスを崩し、あるいはエンジンを壊す。精神の緊張は他のスポーツを上まわるだろう。弓道、アーチェリーなどと比べてもひげをとらない。

「すわったままで体を動かさなくてもスポーツと言えるのか。レースではものすごい体力を消耗する。コーナーでは2Gを超す力がかかるという。体重の2倍の力で横に押しつけられるのだ。頭にかかる15kgもの力にあなたは耐えられるか。」

レースとは超人的なテクニックをもつ人間が、人間を超えた反射神経とかけ引きに勝つ冷静な理性をもって争うものである。こう書くとレーサーは人間ではないようにうつるかもしれないが、

彼らは、やはり人間である。それも陽気な、時には幼稚とも言えるほどに陽気で冗談とひやかしの好きな人間たちである。それを反映してか、レースの時にも明るいスポーツマンシップが漂っている。レースでは全力をつくし必死で戦うが、人の失敗を喜ぶような陰気さはない。あとでひやかしの種になり、失敗した人間までが加わってゲラゲラ笑いとばす程度だ。徹夜で作業しているようなチームがあればたちまちそのチームのガレージには酒やサンドイッチや果物などが山と運びこまれる(他チームから)ことになる。徹夜のチームが数多いと今度はメカニックユニオン(実在しない)から深夜作業中止勧告の回覧板が回ってくる、といった調子で、設計段階ならともかく、レース場では「重要機密」などと言って戸を締め切り中でゴソゴソ、などといった陰気さはない。陽気さの中に闘志を秘めた人間の集まり、それがレース界である。特にレーサーの闘志はすさまじい。賞金などはどうでもいい、ただトップを走りたい。まさにそういう感じである。ロッド骨を折っているが、走っているだけでロッド骨を折るかねない(横Gで)F1マシンに乗ったり、生死の境をさまよった一ヶ月後にはもうレースに復活したり、体力を使い果して立ち上がれないほどに激しい走りをしたり、その執念はこれまた超人的である。

勝つためには全力を尽くす。1周137個といわれるあるコースのコーナーをすべて頭にたたきこんだり、1周4km余り、一分28秒足らずの間に90回もギヤチェンジを行ったり、もはや人間ではない。日本の体操界、少しは見ないなさい。彼らは常に全力で立ち向う。ただ、人より速く走りたい、それだけの為に。彼らは走る目的をはっきり自覚していないという。目標はF1そしてワールドチャンピオン、それ以外にないという。なぜそれを自ざすか、それさえもわか

らないという。本当に走ることの好きな、それ以外なものもない人間なのだ。走っていれば死さへ怖くない、という人間たちなのだ。こゝうなると暴走族ととられかねないが暴走族は死の恐怖への開き直おりでありやけっぱちであるのに対し、レーサーは死を見つめ、死と直面することにより死と積極的に戦っているのだ。

「自分から死ぬのは恐ろしいしとでもできない。しかしレースの事故の結果必然的に死ぬのは怖くない。一と言ったレーサーもいる。彼らはど生と死の限界に近づき、双方を真剣に見つめている人間は現代ではないだろう。少なくとも東大出のエリートの中にはいない。だからエリートどもはレースが理解できない。そこに日本のレース界迫害の体質の根本があるようだ。」

それはともかくとして、全力で生きている彼らは純粹である。人間としてすばらしい物を持っている。このすばらしい人間に触れてみないか。レースのテレビ中継の少ないことがあることはある。土曜か日曜の14時から16時ごろに録画や時には生中継が月に1度くらいはある。ものたりなければ本屋でオートスポーツかオートテクニク（宣伝ではないがこの2冊が最もレース界に深くつっこんでいる）を立ち読みすればよい。写真だけでなくレースレポートや人物紹介、マシン分析なども読めばたちまちこの世界の魅力にとりつかれるだろう。本校図書館にも「グランプリ」（中村良夫著）がスポーツの欄に入っている。かなり前の話だが今でもさして変っていないし、この文章などよりはるかに、よく本当のグランプリを描いている。少しでも興味がわいたら、ぜひレース界と接してほしい。体質的に合わない、という人でも一度でいい、テレビの中継や録画を見てほしい。それも事故を期待して、ではなく華麗なテクニクや激しいバトル、細かい、心憎いまでのかけ引きを期待して、だ。小さな画

面を通してさえそれらにわかるはずだ。レース場へ行くというならなお結構。タイヤの焼けるにおいなども加わってテレビや写真の数倍は楽しめるはずだ。

くだいようだがもう一度、少しでいいからレースと接してくれ!!（感想、意見、文句その他は登山部の秦まで。なお文責は当然のことながら登山部にはありません。）

私の周辺

三年二組 稲葉明義

補習を終えて、帰路につく。私はバス族。車内は頭がのぼせてしまいそうな程熱い。暖房をかけてくれるのはうれしいことだが、少し度が過ぎる。が、色々思っているうちに私は心地よい眠りについてしまった。往々にして、住めば都である。知り合いに肩を叩かれて目覚める。帽子をワシ掴み、おもいっきり焦ってカバンを引き擦り、胸ポケットから定期を出して右手に侍る運転手に見せ、転がり落ちるようにして車から駆け降りる。：ホッと一息。周りの人間にしてみれば、さぞかし賑やかで滑稽に見えることだろう。が、その人たちとて油断はできない。何時、自分も見られているかもしれないのだ。新聞に顔を密着させて、軒をかきながら熟睡している、そんな人を見て嘲笑してはいけない。恐ろしいものは無意識。世間の日はそれ程お人好しではないのです。

私の降りる停留所は、「諸口」。某先生がバスに乗られた時、これまで来られると気分が悪くなられたという、知る人ぞ知る名所。確かにバスはよく震れるものなのではあるが、よほど悪い印象を与

えるものなのかもしれない。まあよいよい。私にはもっと大きな問題がある。『諸口』。正しくは、『鶴見区茨田諸口町』である。決して、『守口』ではない。

昔は田園風景も見られたこの地域は、今やその跡すら見つけ難い。蛙の鳴き声も年毎に聞けなくなってきた。産卵できる池がない。昔はそこそこあったのだが。アブラナの黄色い花も見なくなった。私としては寂しい限りである。子供たちの遊びも変わった。小学校低学年の子等でも野球をしている。高学年に上るまでは球拾いばかりなのであろう。大きい子の横について、何やらせかせかと働いている。私たちのあの時分と言えば、ザリガニ（エビガニ）などを釣ってきたり、やれエビラだの何だのと怪獣にしてあげたりしては、その大きさを競い合って結構楽しんだものだった。不思議と、大きなやつを採ってきた者が『偉い』、そんな社会であったことを今でも覚えている。考えてみれば、人間の価値感の違いとは恐ろしい。よく引き合いに出される話だが、砂漠の中では、どんな高価なダイヤも、手のひら一杯の水には勝てないものである。

鶴見緑地の整備と期を同じくして、家が多く建ち始めた。近くにはマンションも建った。電波障害のことでよく話し合いが行われている。些細な事なのではあるが、時代の変遷を感じてしまう。話は変わる。

中之島の府立図書館から土佐堀川沿いにずっと桜之宮の方まで続いている道がある。緑の多い、私の好きな道の一つである。昼休みであったのだろうか。初めて歩いた時は会社務め風の人の姿が目立っ



た。煙草を吸いながらベンチにもたれかかっている人達の姿を見ると、正に都会のオアシスという感じがしないでもない。逆に言えば、それ程都会は砂漠化しているのだから。とにかく、そういった人々の顔は実にくつろいでいた。私にしても同様である。ほんの小さな自然に思わず微笑んでしまうことはよくある。この原稿を書いている時期であれば、落ちてきた銀杏の葉の一枚にでも話しかける姿など、決して奇妙な光景ではなからう。むしろ人間的でさえある。時には少女のように感傷的になるのもよい。

もうすぐ冬がやって来る。大阪で雪を見ることはまずない。私の母側の郷里は丹後半島、大島である。最近になってこそ行く機会もなく、あの山海はどんなになつたらうとしばし思うこともある。がともあれ、雪化粧した山、田畑は、どんな小さなものでも絶景と言える。純白の中に微かに顔を見せる黒、それは伐採した竹の木の束であり、逞しい喬木の下である。余り有名な地ではない。それだけに都会の俗性に侵される部分は少ない。まだまだ純日本のものを感じさせる。長く大阪に住む私にとって、あの大島の冬景色は、何物にも変えられぬ心の糧の一つであらう。何時かまた訪れてみたい。

年老いた夫婦が二人、私の前にちよん・んと坐っている。寄り添う暖かそう……。かの老夫婦にとって都会の風は、もしかすると非常に冷たいのかもしれない。——もうすぐ冬がやってくる。私にとって、それは悲しみの季節ではあるが、決して絶望の季節ではない。生きている限り、人は希望を持てる。

同好会のすすめ

棋道同好会会長 栗本貴司

学校はクラブの上に同好会を造らずクラブの下に同好会を造らずといへり。されば学校より同好会を生ずるには、万人は万人皆同じ権利にして、入学ながら上下の差別なく、万物の才たる身と心との働きをもって学生生活にあるよろずの物を資り、もって三無主義の奥義に達し、互に人の妨げなさずしておのおの安楽に学生生活を渡しめたもうの趣意なり。されどもいま広くこの学校を見渡すに、富める同好会あり、貧しきクラブあり、華麗なる同好会もあり、存なきクラブもありて、その有様雲と泥との相違あるに似たるは何ぞや……。

右の文章は、かの福沢諭吉先生が名著「学問ノススメ」の余白を利用して書かれたといわれる「同好会のすすめ」である。とていうのはショーもない嘘だが、内容は真実である。僕は一同好会員としてこれまで活動してきて、つねづね同好会というものの立場のたよりなき、弱さを感じるので、こういうものを書いたわけだ。まず、同好会というところには、クラブとちがって運営資金がおりない。会員のカンパが頼みの綱である。その上クラブは部員がいなくても休部という形で存続するが、同好会は抹消されてしまうのである。これら数多の悪条件を克服して我々は活動を続けているわけで、目立たぬながらも非常に充実した内容の活動を行っている同好会もある。これらの同好会が、会員不足から消えていくことは、大手前文化の大なる損失である。諸君の中にも、興味のある同好会があれば、ためらわずにどしどし入会してほしいというのが我々の願いである。

—パロディ— 静寂しじまの中に

一年五組 本多直弘

定期考査 一週間前ともなれば 時の流れ いと速くおぼえ 休みなき 時間配分 ころせし わが思ひ いはむかたなし さても干々 そこはかとなく 各教科 試験範囲ぞ したためらるる ひたすなほ 広き自習課題範囲 恐しくあれば ある者は さくりに泣くらむ このときは いかにしつつか 海が世は渡る いにしへに 試験の功 あるすべもなく さんぬる誓ひ 消え去り つれづれに 眠りすこす 師の忠告 聞く耳持たず わくらばに 人とはあるを 人並みに 努力もするを 点もなき いにしへの試験のごと わが思ひ いはむかたなし

わが心 偽りにし いにしへを 悲しくあれば あとなぬか おもむろに 白紙にななつ 線を引き おひさまの わがためになむ 無駄にならむ 計画表など したたむる 日毎だに 量の多きに いまさらに 気づきてあわつ 今までは 見向きもせぬ 教科書の 充実なるに 気づきてあわつ 机に向かひて ノート開けば 日頃の怠惰 をりからに感じ 千々なる問題集 見つづしるひ 参考書 うちながめて 恐しくあらば 英和辞典 ひきまくり 単語帳 有りのことごと 見れども その姿 われおのづから 泣けてきて しかとあらぬ 自信奮ひ起こし われをおきて 人はあらじと 誇ろへど また偽りほし さてもわが身は 悲しくもあれり 冬将軍 足音近し 家中 寝静まれば 静寂しじまの中に わがわびしき心 すべてならず 天地広しと言へど わがためは 狭くやなりぬる 日月は 明かしと言へど わがためは 照りたまはぬ 人皆か われのみやしかる いまだはかどらぬ 構文150に 怒りをおぼ

ゆ わが机 端に積みにし くさぐさなる 書に眼は届きぬ はや
る思ひ 勉強部屋を 憂へさまよひ 肉体は 疲れに浸りぬ 睡魔
われを 襲ひにければ 顔など洗ひて 窓を開ければ もはや朝風
地平線明かし 勉強はかどらず わが功 夢なることと 言へる
ごとく

そのなぬか 迅風のごと消え
去りぬ かの計画 やはり無駄
になりて 未完なる身 われい
ざなふ 直前の姿 うつせみな
るも 疑はし いと多き 穴埋
めらるる すべもなく 無情な
る ベルは鳴りぬ 無情なる
友らの会話 われの書きたる
こととはまるで まるで違ひぬ
わが功 夢なることと 言へるが
ごとく 声は消え 姿も定まら
ぬ 暗黒に つつまるるただ
人 とり残さるる 静寂の中に わがわびしき心 なべてならず
かくばかり すべなきものか 学問の道



リコレクション — 回想 —

三年六組 秦 光 広

青年はベンチにポツリとすわっていました。青年はある女性が来
るのを待っていました。暮れてゆく秋は青年の後姿を悩ましげに照

らしていました。ふと見ると死にきれない宵待草がひとつふたつ、
恋する心の化身でしょうか、かすかな頼いの灯をともしました。
そして弧影を築しむかのように、来るべき灼熱の瞬間を待つかのよ
うに遠ざかってしまいました。青年は時計を見ました。まだ彼女は
姿をみせません。うす闇の彼をかぶった家々の屋根は疲れきった旅
人のように音もなく立ち尽くしていました。そして夕焼けのスクリ
ーンに美しい姿を投げかけ静寂の妖精へと姿を変えていきました。

青年は時計を見ました。まだ彼女はやって来ません。青年は目を
閉じました。心が落ちてきました。そしていつの間にか寝入ってし
まいました。青年は何かささやくような音がするので目を開けてみ
ました。するとそこにはやけに大人っぽい彼女が微笑みながら立っ
ていました。彼女の髪は海からの夕風によじれて分かれてなすがま
まに揺れていました。黒い帽子がやけに目立っていました。青年は
こんなにきれいな彼女を見たことがありませんでした。静かな時の
風紋の中の彼女は青年を大気のように爽やかに包み、陽の光のよう
に優しく照らしました。目からのような瞳、ピロイドのような腕、
春風のような微笑に青年の心は揺れていました。青年は彼女の名を
呼んでみました。「……。」もう一度呼んでみました。「……。」
彼女はただ笑うだけでした。真綿のように柔かい鉄道の汽笛は優し
さという透明なベールに包まれて、吸いこまれるように奇妙なシル
エットで消えていきました。彼女の言葉が沈黙を破りました。「さ
ようなら……。」それは遠い遠い夜のかなたから響いてくるように
思われました。彼女は駆けてゆきました。青年は茫然と立ちすくみ
彼女の後姿を見つめていました。不思議に帽子が印象的でした。青
年はふと気がつくや彼女を追いかけていました。折りしも鉛と化し
た陽が苦渋にうもれ、はのぼるとした心の澄が流れようとしていま

した。「待って。」青年は必死で追いかけてきました。しかし彼女が遠ざかるにつれて自分が彷徨える原子のように小さくなってゆくのを感じていました。彼女がまがりかどを曲がったとき帽子が脱げました。彼女はもう見えなくなりました。青年は立ち止まりました。青年は泣きました。泣きくれました。涙の海の夕焼けが前奏曲を奏で始めました。そして涙が尽きたとき荘重なフーガが微睡の誘惑を打ち砕き目を突きさすような琥珀色の太陽が飛び込んできました。

「……夢だったのか。」青年は思いました。青年は時計を見ました。わずか数分の出来事だったようです。青年の心にかすかな安堵がよみがえりました。しかし彼女の言葉に胸をつまらせて、彼女の後姿に胸を痛ましていました。うつむいていた彼女の顔は冷たい北風のように。もどかしそうに彼女を見る青年の顔ははかない粉雪のようでした。青年はぼんやりと彼女を待っていました。はるかかなたの果てしない地平線の上に、ウィンドブレカーと同じ色の雲が幾重にも幾重にも重なり次から次へと溢れ出では消えていきました。青年は溺れてしまいそうな心が沈黙の時の中へ沈んでいくのをかろうじてこらえていました。確かな何かを時に求めました。変わらぬ何かを心に求めました。青年の幻想は蜃気楼のようにふらふらと天の白衣へと舞い上がり、すべての生命は美しさとともに時の空間へ流れでゆきました。青年はこの時ほど傍にぬくもりがほしいと思った時はありませんでした。青年はため息をつきました。青年の頭の中に「失恋」という言葉と「死」という言葉が浮かんだのはどちらが速かったでしょうか。

三時間が過ちました。彼女はとうとうやって来ませんでした。流れていく時の正確さに恐れを感じなくなった心と、くずれていく愛の寂しさに憂いを感じなくなった心がからみあいながら、果てるこ

とどのない恋の深みに落ち込んでいきました。ただひたすらに想いをかけた彼女に愛されることは決してありはしないだろうと感じたあの一瞬の絶望感は、生涯青年の脳裏から離れることはないでしょう。青年は驚くほど落ち着いていました。それはあたかも時を超越したかのようなでもありました。夕焼けが目にしみていました。

……あの夕焼けのせいだったのでしょうか。あの帽子のせいだったのでしょうか。……誰のせいでもありません。彼女のためだけでもありません。そして、その青年こそ僕自身なのだから。

愛について

三年七組のトニオ・クレール

空気と光と

そして友だちの愛ノ

これだけあつたら

弱りきってしまうことはない

(ゲーテ)

人間は誰でも孤独なものだ。俺だって夜空を彷徨う流れ星に向かつて俺の心を理解わかってくれるのはお前だけだと言いたくなることもたびたびだ。だがそんな時、よく考えてみればこの世界の人はみなそれぞれにひとりぼっちだということが思い出されるのである。

「愛」の風化が叫ばれるようになって久しい。愛ということばは世間に氾濫している。週刊誌にもテレビにも、歌の歌詞にも、数多くの小説にも。

しかし真の愛とは、孤独に苦悩しぬいた人間が互いに相手に心をひらき、心の底から信じあい、自己のすべてをあたえ、過ちを互いに赦しあい、ともに至高者に祈ることができるとはいいられないだろうか。

それは求めるだけのものではない。より多くあたえるものだ。それはしばしば苦痛や犠牲を伴う。ゴルゴダの丘に死んだあのスーパースターのように。

しかしそれをも恐れぬ愛こそ真実の愛であり、そのような愛するひと（友や恋人や全世界―これは具体的にはまず隣人を愛することだが）があるなら、人生の困難にも雄々しく立ちむかってゆくことができるだろう。そして今こそそのようなひととめぐりあえるときなのだ。



編 集 後 記

スプリングは、この20年の間、大手前高校あるいは大手前生の変化和と共に、様々な変貌をとげた。その中で、一番問題となり各号の特色がでたのが、この雑誌のとらえ方であろう。本来自治会の機関誌であった「スプリング」が、自治会の手許から、文化部へと編集者を変え、二転三転する間に、現在のような自治会との特別に近づかないものとなってしまった。でも、私はそれでも良いと思っている。スプリングは、自治会のみでなく、自治会も含めた大手前生全員のものと考えたいからだ。ただ、かくいう20号もここ数年来の娯楽志向に走り、そういったスプリングのあり方をもっと取り上げることのなかったのは心残りである。今後の編集者は、どうかその点をふまえて、スプリングをもう一度考え直して欲しい。本号はその為の踏台に充分なり得ると自信をもって言える。なぜなら本号は、編集委員十人が本当に一丸となり、多くの人の協力によって作られた文字通り「努力の結晶」なのだから。

最後に、アンケートにご協力下さった先生方、生徒の皆さん、及び美術部の方々、本当にありがとうございました。また、いろいろ御指導下さった中塚五郎先生が、この春、香里丘高校教頭に御栄転になりました。編集委員一同、心より御多幸をお祈り申し上げます。

― 編集委員長 ― 柏田 佳江

永田 洋男

3年1組：特集1担当
やっぱり編集はひとり
でやるより大勢でやる
方がいい。

若井 美弥子

3年1組：先生紹介担当
みんなの協力があつて、
できたと思う。先生紹
介：読んで下さい。

黒住 淳人

2年2組：特集1担当
不安→開始→無謀→天
中殺→徹夜→後悔→挫
折→妥協→情性→完成

杉本 宏美

2年4組：クラス・行事紹介担当
文化祭につぐ大仕事。
この一年、ホントにし
んどかった!!

staff

大村 茂

2年5組：読み物担当
このスプリングのどこ
かに、僕の文章がまぎ
っています。

柏田 佳江

2年7組：特集Ⅱ・行事紹介担当
済んだ！済んだ！もう
呼び出しはかからない
んだ！

岸田 尚子先生

出来ばえはどうあれ、
今はスガスガしい気持
ちです。

原田 茂夫

1年1組：特集Ⅱ・先生紹介担当
先輩方に頼りっぱなし
で、誠にお恥ずかしい
かぎりです……。

丸山 仁志

2年7組：特集1担当
終わりさえすれば全て
よし。あとは野となれ
山となれ。鶏ちゃん。

溝根 武史

1年4組：クラブ紹介担当
春の陽を浴びるその日
を待ち望み握りしペン
に宿る魂——ツチノコ

塚本 あかね

1年4組：特集Ⅰ・先生紹介担当
—教訓—文化委員にな
らんとする者、「春」の
存在忘る事なかれ。

楠本 敦之

2年2組：美術部代表・表紙
—に努力—toに努力、し
かしながら最後にはや
はり妥協であった。

昭和55年1月28日 印刷

非売品

昭和55年2月12日 発行

発行責任者 中塚五郎・岸田尚子

発行所 大阪府立大手前高等学校
大阪市東区大手前之町2

印刷所 株原多成文社
大阪市都島区都島北通2-3-23